

東京歯科大学同窓会会報 第368号

目 次

グラビア セピア色の写真館

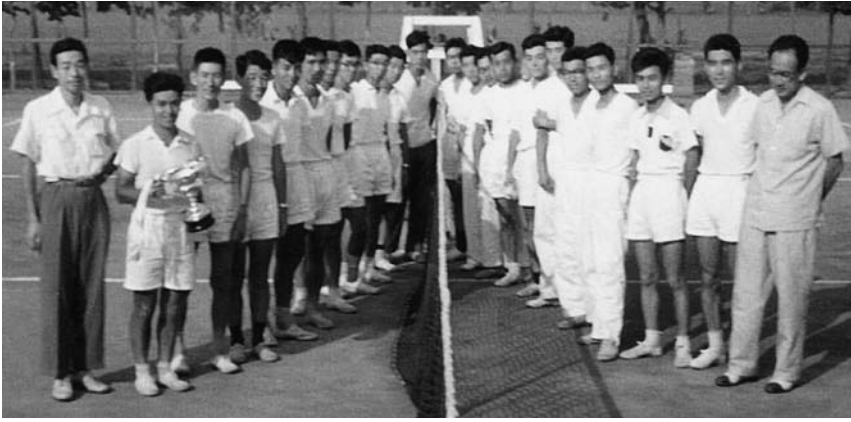
巻 頭 言	1
お知らせ	2～4
会 務	5
厚 生	6～8
理事会のうごき	9
保 険	10～11
東京歯科大学 創立120周年記念事業	12
母校だより	13～14
支部のうごき	15～26
ふるさと自慢	27
クラス会だより	28～32
OB会・グループ・サークルだより	33～34
庶務日誌	35
逝去会員	36～37
へんしゅうこうき	38

(表紙 野村 淳)

---

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～





### 硬式テニス部の想い出

硬式テニス部は、創部70年を迎える歴史ある部であります。昭和26年頃から医歯薬トーナメント、29年か

ら関東医歯薬リーグ戦に参加して春秋連続制覇、35年から始まった歯学体では10年近く連覇したという伝統あるクラブです。前ページ上段の写



真は、31年に関東医歯薬リーグ戦で優勝したときのものです。前列は原学郎部長を中心に梅原正年先生等当時の部員です。昭和35年の天皇陛下と美智子皇后ご成婚の年には、部員が100名を超えたこともあるそうです。37年には女子部員も加わり、犬飼啓元ならびに康元先生のお力添えで松本市で夏合宿を行いました(前頁下段)。そのとき差し入れにいただいた冷えたスイカ、トマトの美味しかったこと、今でも喉元で覚えています。

昭和31年に大阪大学歯学部テニス部との定期戦が始まり、第一回は阪大堀内寛先生の紹介で大阪市桜の宮日銀コートで行われ、二回目は東歯大市川コートで行われました(一段目)。戦績は東歯大5-4の勝利。その5年後より現役対抗戦に加えてOB戦も実施されました。両校間に愛の芽生えもありました。阪大中川俊一、東歯大北川映子(50年卒)先生のカップル誕生。その年の市川コートで二人を中心に両校の記念撮影(二段目)。

定期戦は3年前に50回目を迎え、東京江戸川区で現役と一緒にテニスを楽しみ、両校一緒に記念撮影、前列中央には熱田俊之助理事長も参加しています(三段目)。

部として特筆できることの一つに車椅子テニスの支援があります。千葉市の齊藤隆夫先生の計らいで主に女子部員を募り、千葉ハンディキャップテニスクラブの方々と親善試合を数年行いました。その中にはパラリンピック出場の選手もいました(四段目、後列右は齊藤先生)。

硬式テニス部の現役は、昨年歯学体で男女とも優勝の完全優勝を成し遂げました。このように部は伝統をしっかり堅持し、新旧和合して楽しくさらに発展していくことを祈念しています。

(昭和42年卒・山口秀晴 記)

## —同窓会ってなんだろう— 母校にエールを



副会長

神 谷 龍 司

同窓会ってなんなんだろう。大学の同窓会，高校の同窓会，中学・小学校の同窓会，それぞれの卒業生が母校に帰属し結成されていますが，その活動，存在意義は一体全体どんなものなののでしょうか。上級学校になるほど存在が少しずつ大きくなっているように思います。

私共東京歯科大学同窓会は年会費を徴収し，運営されています。これは卒業以来血脇イズム，家族主義，同じ学び舎で培った同族意識で，余り違和感もなく意識もせずに納入し続けているわけであります。だからこそ卒業研修，共済制度，同窓会誌や5年毎に発刊される名簿等から深い仲間意識・絆が引き継がれてきているのだと思われまふ。母校は来年2010年に創立120周年を迎えます。この機会に同窓生一人一人が同窓会の存在をあらためて考えてみる良い時期かもしれません。これからの30年，50年先の未来にも水道橋・稲毛の心の絆の精神が

生き続けることを願うからです。

ところがこの数年，同窓会・母校において，同窓生・卒業生にとりまして大変悲しく残念な幾多の出来事が発生しました。原因は多々あるかと思われまふが，近年の歯科医療界の地盤・魅力の低下かもしれまふ。歯科界は1961年から1980年の19年間に歯学部を旧6校から29校に増やしました。又口腔衛生環境の向上に伴う歯科疾病構造の急激な変化や，驚くべきことに昨年歯学部入学定員数が充足できない学校が出現したことです。今や歯科大学さえ選ばなければ誰でも容易に入学でき，歯学生になれる時代が来たということでしょう。

私は昨年初めて3万2千坪の稲毛キャンパスの入学式に参列させて頂き感動して帰ってまいりましたが，現在稲毛から水道橋への移転が計画されています。母校は120周年を期して教育施設の将来を考え，委員会を設置し検討してきた結果であります。ご存知のように母校の経営・運営・人事権の全ての権限は学校法人東京歯科大学にあります。移転について法人理事会が平成20年3月21日に，法人評議員会が平成20年3月28日に決議決定しました。それに伴い教授会へは平成20年4月21日に，同窓会評議員会へは平成20年11月22日に報告され，それぞれ協力を約してあります。幸か不幸か同窓会にはその決定権はありません。

歯科界を取りまく環境は対社会的に見て，少子高齢化と日本経済，受験生の減少，歯科医療の魅力低下，行政の歯科への対応等々世間は真摯に見つめています。対学的には質の確保の重要性，大学機能の高度化，財務・構造改革の必要性等を総合的に考慮した場合，水道橋への移転は東歯がこれからも歯学の一流の存在で存続するための手段であり，歯科界から尊敬され生き残るための苦悩の選択であると思ひます。そして東京歯科大学の将来の実現，これからの100年も歯学の殿堂であり世界に一流の研究成果を発信し，夢でなくノーベル賞受賞者を輩出する，そんな母校であってほしいものです。

現在大山萬夫執行部，積年の課題に「会則等検討委員会」を設置し，会員のために会員目線の改革と，事業の選択と集中を肝に銘じ，Yes We Can，勇気と自信を持って変革に着手して居ります。

同窓生としてそれぞれの立場で東歯の底力を発揮し，母校東京歯科大学に絶大なるエールを送ってほしいものです。

# お知らせ

## 理事会より

●平成20年度評議員会・総会を一区切りとし、大山執行部立ち上げ前より棚上げになっていた項目については、一応の目途が付けられたものと思われまます。

年が明け執行2年目には、昨年の継続事業を推進していくと共に、更なる同窓会全体としての事業に係わる検討を行っていかねばならないと考えています。更なる会則の変更、および会務の検討を具体的に進めて参りますので、会員各位の積極的なご意見をお待ちしております。

## 同窓会事業・行事

### ●第37回全国ゴルフ大会

と き 平成21年9月17日(木)

ところ 茨城県・大利根カントリークラブ

### ●平成21年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と き 平成21年11月28日(土)

ところ 如水会館(千代田区一ツ橋2丁目)

※既に12月号に訂正文を同封いたしておりますが、12月号掲載の開催日に誤りがありました。訂正の上お詫び申し上げます。

### ●TDC 卒後研修セミナー2009プログラム

#### 臨床実技セミナー

No.1 MTM 基礎コース

～明日から使える MTM～

4月18日(土)・19日(日)

No.2 新素材、歯冠修復の新たな潮流

～メタルフリー修復を臨床にとり入れよう～

5月24日(日)

No.3 全身管理と偶発症に強くなろう

6月21日(日)

No.4 根管形成法・根管充填法の基本と応用

～根管治療のあたらしい3S(Safety Speedy Surely)～

9月6日(日)

#### 基本技術セミナー

No.5 フラップ手術の基本

～for beginners～

7月12日(日)

No.6 1枚のX線写真からみられること

～デンタルパノラマX線撮影のコツと読影～

10月4日(日)

#### 卒研フォーラム

No.7 歯科医療の将来へ向けて

～国民歯科医療の充実とは～

11月8日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部

Tel. 03-5275-1761

## 地域支部連合・支部関係

### ●地域支部連合会会長の交替

平成21年1月1日付

東北地域支部連合会 椎木 一雄氏(44卒)

前連合会長 高橋 昭一氏(38卒)

関東地域支部連合会 武安 一嘉氏(44卒)

前連合会長 関谷 和夫氏(42卒)

東海地域支部連合会 牧野 健司氏(43卒)

前連合会長 浅野 尹男氏(45卒)

近畿地域支部連合会 宗本 匡由氏(42卒)

前連合会長 西尾 敏生氏(50卒)

九州地域支部連合会 吉澤 健介氏(39卒)

前連合会長 石田 雅男氏(44卒)

## ●支部長交替

平成21年1月1日付

横浜鶴見支部	酒井 眞一 氏 (35卒)	足立支部	片桐 博陽 氏 (50卒)
前支部長	中城 基雄 氏 (59卒)	前支部長	山田 俊治 氏 (51卒)
神奈川西湘支部	有近 徳幸 氏 (43卒)	中信支部	竹内 忠彦 氏 (39卒)
前支部長	柏木 勝 氏 (39卒)	前支部長	片倉 恵男 氏 (39卒)
麴町支部	大野 誠 氏 (42卒)	東信支部	佐藤 秀道 氏 (45卒)
前支部長	柴山謹一郎 氏 (41卒)	前支部長	土屋 潔 氏 (44卒)
本郷支部	石原 忍 氏 (54卒)	南信支部	松野 文昭 氏 (48卒)
前支部長	佐藤 晃一 氏 (43卒)	前支部長	矢島 芳明 氏 (48卒)
浅草支部	蛭谷 剛文 氏 (53卒)	岐阜県支部	国島真希子 氏 (51卒)
前支部長	石山 文子 氏 (40卒)	前支部長	小川 敏彦 氏 (41卒)
玉川支部	岡本 広 氏 (54卒)	滋賀県支部	北村 真也 氏 (46卒)
前支部長	朝長 寛 氏 (48卒)	前支部長	曾我 宏世 氏 (42卒)
滝野川支部	海老原典子 氏 (42卒)		
前支部長	伴 秀之 氏 (39卒)		

## 母校関係行事・案内

## ●平成21年度東京歯科大学入学試験

一般入学試験(Ⅱ期) 平成21年3月14日(土)

詳細は365号(8月号)8頁に記載

## ●第114回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式

とき 平成21年3月25日(水)午前10時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

## ●平成21年度東京歯科大学入学式

とき 平成21年4月6日(月)午後1時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

## ●第58回東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式

とき 平成21年3月13日(金)午後1時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

## ●平成21年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式

とき 平成21年4月3日(金)午前10時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂



本会常任理事佐藤晃一先生におかれましては、会務の執行に尽力されておられましたが、平成21年1月1日に逝去されました。

享年65才

ここに謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

なお、葬儀、告別式は1月7日(水)に東京都荒川区の町屋斎場において執り行われました。

平成21年度 理事会・常任理事会，卒後研修セミナー，広報部委員会  
年 間 開 催 日 程 表

理事会・常任理事会		卒後研修セミナー		広報部委員会	
開催日	区 分	開催日	研修内容	開催日	作業内容
1月17日(土)	第1回 理事会			1月13日(火)	2月号編集
2月4日(水)	第1回 常任理事会			2月13日(金)	4月号企画
3月11日(水)	第2回 常任理事会			3月13日(金)	4月号編集
4月11日(土)	第2回 理事会	4月18日(土)	臨床実技セミナー No.1	4月14日(火)	6月号企画
4月22日(水)	監査会	4月19日(日)	臨床実技セミナー No.1		
5月13日(水)	第3回 常任理事会	5月24日(日)	臨床実技セミナー No.2	5月11日(月)	6月号編集
6月10日(水)	第4回 常任理事会	6月21日(日)	臨床実技セミナー No.3	6月11日(木)	8月号企画
7月8日(水)	第5回 常任理事会	7月12日(日)	基本技術セミナー No.5	7月10日(金)	8月号編集
				8月18日(火)	10月号企画
9月9日(水)	第6回 常任理事会	9月6日(日)	臨床実技セミナー No.4	9月11日(金)	10月号編集
10月10日(土)	第3回 理事会	10月4日(日)	基本技術セミナー No.6	10月13日(火)	12月号企画
11月27日(金)	第4回 理事会	11月8日(日)	卒研フォーラム No.7	11月11日(水)	12月号編集
11月28日(土)	評議員会・定時総会				
12月12日(土)	第5回 理事会			平成22年 12月2日(水)	平成22年 2月号企画
				平成22年 1月12日(火)	2月号編集
(理事会5回・常任理事会6回)					
1. 理事会 土曜日 午後2時30分 水道橋校舎特別会議室(5階) (連絡会 午後1時00分) 2. 常任理事会 水曜日 午後5時00分 水道橋校舎特別会議室(5階)		卒後研修セミナー 1. 開催日 4月18日(土)臨床実技セミナー 10:00～ 4月19日(日)臨床実技セミナー 9:30～ 5月24日(日)臨床実技セミナー 9:30～ 6月21日(日)臨床実技セミナー 9:00～ 7月12日(日)基本技術セミナー 9:30～ 9月6日(日)臨床実技セミナー 9:00～ 10月4日(日)基本技術セミナー 9:00～ 11月8日(日)卒研フォーラム 9:30～ 2. 会 場 水道橋校舎2階 血脇記念ホール		編集・企画会議 1. 時 間 午後6時30分 2. 場 所 TDCビル1階 同窓会会議室	

# 会 務

## 東京歯科大学同窓会会則一部改正について

大山執行部は「変革と発展」を掲げて同窓会事業を展開することにしてありますが、中でも会則に関する改正は必要不可欠なものであります。そのうち4項目について「会則等検討委員会」に諮問し答申を受けました。平成20年度評議員会において「第17号議案東京歯科大学同窓会会則一部変更を求むる件」として可決された会則変更について掲載し、会員の皆様にご報告させていただきます。

今回の改正は急を要する事項と、会則の不備を正し

文章の明確化を計ることを主にしたものですが、今後は支部の再編等大きな定款変更を目指しております。

同窓会の変革と発展のため会員の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、今回評議員会で可決された会則に関する4項目とは別に旅費規程についても経費節減のため原則的にグリーン料金を廃止することを理事会決定しております。

	旧	新
(入会) 会則第6条	本会に入会する者は、本籍地、現住所、氏名、性、生年月日、卒業校および卒業年月日、診療所所在地または勤務先を別記様式により所属する支部を通じて届け出るものとする。 ただし新規卒業者は一括入会とし、支部に所属したときは、速やかにそれぞれの支部を通じて届け出るものとする。	本会に入会する者は、本籍地、現住所、氏名、性、生年月日、卒業校および卒業年月日、診療所所在地または勤務先を別記様式により所属する支部を通じて届け出るものとする。 ただし本学卒業者は卒業時に一括入会とし、 <u>入会後は原則として主たる勤務地(臨床研修施設を含む)に所属する。勤務地のない者は、現住所の支部に所属する。支部を移動した際は、速やかに所属支部を通じて届け出るものとする。</u>
(処分) 会則第11条	会員であって、会則、議決等に違背し、または、本会の名誉並びに体面を汚し、あるいは、綱紀を乱した者は、評議員会の議決を経て戒告、または、期間を定めて会員の資格を停止することができる。	会員であって、会則、議決等に違背し、または、本会の名誉並びに体面を汚し、あるいは、綱紀を乱した者は、評議員会の議決を経て戒告、または、期間を定めて <u>会員としての</u> 資格を停止することができる。
(役員を選任) 会則第13条	役員は、評議員会において会員の中から選挙する。ただし、第12条第2項に規定する理事は当該地域支部連合会により推薦する者とする。	<u>会長、監事は評議員会において会員の中から選出する。副会長、理事については評議員会の承認を得て会長の指名により会員から選任する。</u> ただし、第12条第2項に規定する理事は当該地域支部連合会により推薦する者とする。
(評議員の選任) 会則第19条	評議員は、次の各号に掲げる者とする  一 支部所属正会員100名、または、その端数を増すごとに1名。ただし、支部長、または支部長が推薦するものとする。  二 日本歯科医師会役員、日本歯科医師会代議員および都道府県歯科医師会会長  三 会長の指名する者若干名	一 支部所属正会員100名、または、その端数を増すごとに1名。 <u>ただし、最初の1名は支部長が兼ねるものとし、他は支部長が推薦するものとする。</u>  二 日本歯科医師会役員等、日本歯科医師会代議員および都道府県歯科医師会会長  三 <u>評議員の選任基準による者</u>



## 東京歯科大学同窓会共済規程変更について

平成20年度評議員会において東京歯科大学共済規程の変更が承認されましたので、その趣旨並びに共済規程変更の原因となった改正保険業法について説明させていただきます。

### 1. 保険業法の改正について

#### ・保険業法改定の目的及び概要

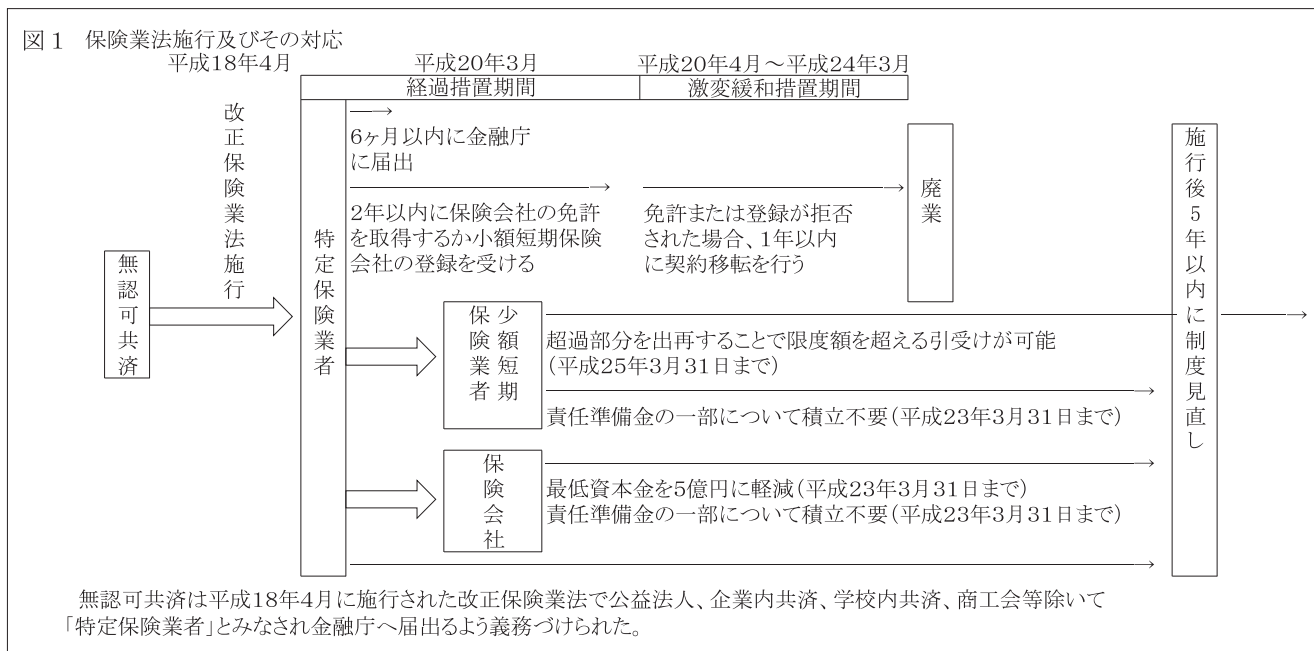
オレンジ共済事件など共済を悪用したマルチ商法的な悪徳業者を排除することを目的としてこの保険業法の改正が行われました。この改正で同窓会の共済などいわゆる「無認可共済」は2008年3月末までに廃業

するのか、民間の保険会社に事業を移管するのか、給付額を最高1,000万円に減らした「少額短期保険業者」に登録するののかという選択を迫られておりました(図1)。また共済金の額が10万円までであれば社会通念上の金額として現行通り認められるという官庁の見解もあり、この中から同窓会の共済事業の選択が迫られる状況となりました。

### 2. 保険業法の改正と東京歯科大学同窓会共済制度について

厚生部委員会では所轄の関東財務局に向き次のことを確認していま

す。「平成16年4月の時点で共済制度として会員が7000名程度で一定の負担金を徴収し、死亡保険金(共済金20万円)その他を支払っている現在の同窓会共済の状況では『特定保険業者』とみなされ金融庁に届け、制度を改定し届け出が必要」であること。従って現在の共済制度の状態では存続はできないことが分かりました。東京歯科大学同窓会や他の歯科大学の共済制度のみならずPTAの共済や各事業所でのある程度の規模を持った共済制度へも影響を与えています。



### 3. 東京歯科大学同窓会共済事業の将来

この保険業法の改正とは別に東京歯科大学共済制度の将来を考えて取り組まなければならない問題があります。現在の共済負担金年額4,000円で共済金20万円であると近い将

来共済事業の運営が危ぶまれる状況にあります。それは次にあげる三つの理由があります。

1) 今後しばらくは新入会員と逝去会員数が拮抗状態を続けるが、歯科医師過剰問題もあり新入定員数の削減や歯科大学受験生の減少等を考

慮すると、近い将来、その大幅な逆転現象が起き、会員数の減少が起きる可能性があります。

2) 歯科界の経済的環境により、開業の差し控えや、会員数の高齢化が進み、同窓会員の連帯意識の希薄化が起これ共済負担金の未納化傾向が

進むことも考えられます。

3) 都市型広域災害が発生した場合、多大の損害を会員にも及ぼし、多額の共済金の支払を要する可能性もあります。

#### 4. 東京歯科大学同窓会共済基金の収支推移

会員より集めた共済負担金の総額は平成10年では3千万円余りですが、平成19年までに2千2百万円ほどに減少しております(表3、グラフ1)。しかしながら共済金の支出は多少の変動はありますが平均2千4百万円ほどで災害がなければ横ばい状態を続けています。平成16年度の共済金(B)支払額は新潟地震のため増加しています。

同窓会共済制度変更後の共済基金収支推移を予測したものが表4です。共済負担金(A)は会員一人あたり年額3,000円で計算し予測をたてました。総額の算定については21~24年度までは過去10年間の平均収納人数の95%25年度以後は90%と予測し算出致しました。24年度までは収支総額はほぼ拮抗していますが、現在の繰越金は1億2780万円であり、ここ数年は負担金3000円で運営できると思われます。表4の共済金(B)は弔慰共済金と80歳のお祝い金を算出しています。共済金(C)は共済金(B)に1年間の平均罹災金(750,000円)を加えた金額です。また平成21年度のみ共済金(C)が5,755万円と高額ですが、これは現在80歳以上の782人への長寿お祝い金の支出によるものです。

#### 5. 東京歯科大学同窓会共済規程の変更について

以上のことを考慮し、厚生部委員会、理事会で種々検討した結果、現状のまま存続させるために弔慰金、災害見舞金は社会通念上の上限10万円とし、会員の負担を少しでも和

らげるために共済負担金を3,000円に減額するとともに新たに長寿お祝い金(80歳)として5万円を設けることといたしました。昨年の評議員会におきましても次のようにきまり、共済事業を存続することを決定いたしました。

#### 東京歯科大学同窓会共済規程の一部変更について

第3条 共済基金は、会員の共済負担金、寄付金および他の収入をもってこれに当てる。

二 負担金の額は、評議員会の議決により定める。

平成21年度共済負担金 3,000円  
(現行 4,000円)

第6条 共済金の金額は次のとおりとする。

一 死亡の場合 弔慰共済金 10万円(旧20万円)

二 火災罹災の場合 罹災共済金  
イ 全焼の場合10万円(旧20万円)  
新設 80歳の長寿お祝い金5万円

#### 6. 共済制度変更、長寿お祝い金の実施について

平成20年12月10日の常任理事会において、共済制度の変更ならびに新設の80歳長寿お祝い金を平成21年1月1日より施行することとなりました。80歳の誕生日を迎えた会員を対象とし、長寿お祝い金として5万円を支給します。(なお、会費や共済負担金の滞納がある場合にはお祝い金を支給できませんが、完納された場合にはこの限りではありません)

また今年度は80歳を過ぎた会員についても同様に長寿お祝い金として5万円支給いたします。このお祝い金は現金書留にてお送りする予定です。長寿お祝い金を今年度お支払いする会員数は800名程度です。このため事務手続きが繁多となり直ち

にお手元には届かないことがあると思われま。事務手続きの進行状況は追って同窓会報にてお知らせいたします。

(注)

1) 同窓会費、共済負担金免除について

東京歯科大学同窓会では、前年12月31日から1月1日に変わる時点をもって75歳、80歳に達した会員を対象としてそれぞれ同窓会費、共済負担金を免除してきた経緯があります。共済規程では1月1日と記載されておりますが、1月1日も含まれるとも受け取られますので、次の評議員会で現状に合わせ規程の訂正を考えております。

2) 弔慰共済金について

同窓会費および共済負担金が前年度まで滞納の場合は、今年度を含め未納分を差し引きして支払っていません。

表1 80歳の会員数

年月日	会員数
H21. 1. 1	110
H22. 1. 1	140
H23. 1. 1	119
H24. 1. 1	117
H25. 1. 1	118
H26. 1. 1	98
H27. 1. 1	128
H28. 1. 1	122
H29. 1. 1	124

表2 逝去会員数

年度	逝去会員数
14	106
15	139
16	124
17	133
18	109
平均	122.2

表3 東京歯科大学同窓会共済基金の収支推移  
(変更前の平成10年度～19年度共済基金収支推移)

年度	収入		支出		差額
	共済負担金(A)	共済金(B)	共済金(B)	共済金(C)	
10	30,046,900	21,800,000	21,800,000	8,246,900	
11	25,359,500	25,000,000	25,000,000	359,500	
12	31,744,200	26,470,000	26,470,000	5,274,200	
13	26,776,000	22,830,000	22,830,000	3,946,000	
14	23,674,400	21,470,000	21,470,000	2,204,400	
15	30,223,100	22,670,000	22,670,000	7,553,100	
16	23,183,700	28,650,000	28,650,000	△ 5,466,300	
17	25,480,300	25,400,000	25,400,000	80,300	
18	25,838,400	25,400,000	25,400,000	438,400	
19	22,024,200	22,430,000	22,430,000	△ 405,800	
平均	26,435,070	24,212,000	24,212,000	2,223,070	

グラフ1 (変更前) 共済基金の収支推移

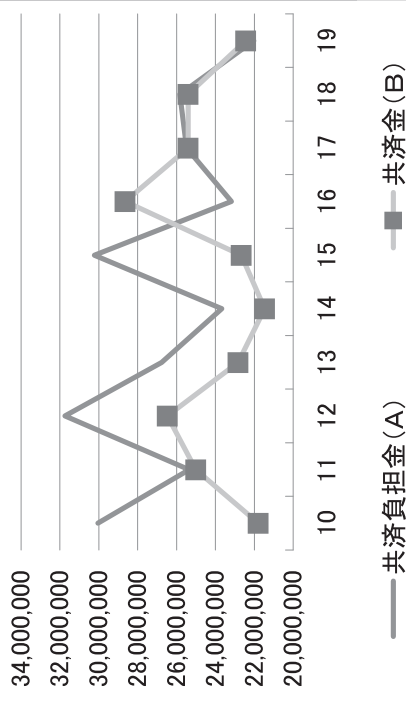
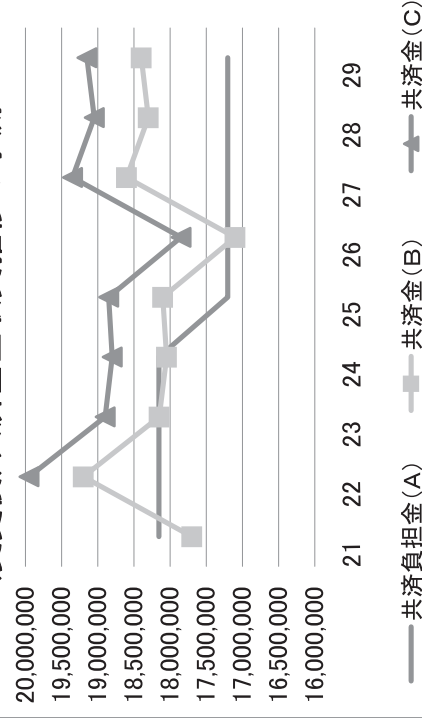


表4 東京歯科大学同窓会共済基金の収支推移の予測  
(変更後の平成21年度～29年度共済基金収支推移の予測)

年度	収入		支出		差額	
	共済負担金(A)	共済金(B)	共済金(B)	共済金(C)	(A)-(B)	(A)-(C)
21	18,156,000	17,700,000	17,700,000	57,550,000	456,000	△ 39,394,000
22	18,156,000	19,200,000	19,200,000	19,950,000	△ 1,044,000	△ 1,794,000
23	18,156,000	18,150,000	18,150,000	18,900,000	6,000	△ 744,000
24	18,156,000	18,050,000	18,050,000	18,800,000	106,000	△ 644,000
25	17,202,000	18,100,000	18,100,000	18,850,000	△ 898,000	△ 1,648,000
26	17,202,000	17,100,000	17,100,000	17,850,000	102,000	△ 648,000
27	17,202,000	18,600,000	18,600,000	19,350,000	△ 1,398,000	△ 2,148,000
28	17,202,000	18,300,000	18,300,000	19,050,000	△ 1,098,000	△ 1,848,000
29	17,202,000	18,400,000	18,400,000	19,150,000	△ 1,198,000	△ 1,948,000

グラフ2 (変更後) 共済基金収支推移の予測



# 理事会のうごき

## 第6回理事会

平成20年11月21日(金)午後3時00分～午後5時45分

於 特別会議室

出席 32名

議長 片倉副会長

### 会長挨拶

会長となって早1年を経過、その間各位の協力を頂き、今日を迎えることができたことに感謝したい。明日の評議員会に向かって慎重な協議を願いたい旨、挨拶。

### 黙 禱

平成20年10月12日から本日までに逝去連絡があった11名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告および承認

1) 平成20年10月15日から12月までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務部：①支部・地域支部連合会等学術講演会講師交通費の支出を9件報告。②秋の叙勲受章の荣誉に浴された8名、日本歯科医師会会員褒章受章者1名について報告し祝意を表した。③東京歯科大学同窓会会長賞受賞の荣誉に浴された3名を報告し祝意を表した。④全国歯科大学同窓・校友会懇話会報告。⑤会員数、東京歯科大学学年暦を配布し報告。

(2) 会計部：評議員会での会計報告について説明。

(3) 渉外部：渉外部委員会報告。

(4) 学術部：①学術部委員会報告。②セミナー報告10月26日(日)ベーシックセミナー。11月9日(日)の卒研フォーラムには130名が参加した旨報告。③TDC 卒後研修セミナー2009のパンフレットを配布。④カードリーダー購入補助申請支部を報告。

(5) 広報部：①広報部委員会報告

(6) 厚生部：①共済負担金の納入期日について、改めて理事会で確認願いたい旨付言。②逝去会員について平成20年度逝去会員は11月18日(火)現在で累計127名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。

(7) 保険部：①保険部委員会報告。「保険診療の手引き」を10月号会報に同封した旨、併せて報告。

(8) 情報部：①情報部委員会報告。

### 各地域選出理事報告

1) 戸田理事(北海道)

① 11月15日(土)、16日(日)の両日、第25回卒後研修会を開催。約100人の出席者があり盛会裏に終了

した旨報告。

2) 高橋理事(東京)

① 11月13日(木)東京地域支部連合会支部長会を開催。共済規程第3条第3項の解釈について、質問が出ている旨報告。

3) 伊藤理事(東海)

① 岐阜県支部と三重県支部の総会開催予定を報告。

4) 小室理事(近畿)

① 11月23日(日)近畿地域支部連合会総会の開催予定を報告。

5) 久保田理事(四国)

① 平成21年5月9日(土)四国地域連合総会開催予定を報告。

② 支部4県の支部長からの要望として、新入会員の情報収集に関して、大学支部との連携について今後理事会で検討していただきたい旨発言。

6) 濱田理事(九州)

① 10月18日(土)福岡市にて九州地域支部連合総会を開催した旨報告。大学移転に関する質疑を取りまとめ、後日質問したい旨を報告。

7) 大学の報告

① 11月8日(土)推薦入試実施。前年度より3割強減の74名が受験し、41名を合格とした旨報告。私立で推薦を行っている大学では、4校を除いては募集人員に達していない状況にあることを付言。

### 協議事項

1) 東京歯科大学同窓会会員関連機関勤務者名簿の配付について、一部訂正した後支部長に配布することに変更する旨説明、協議の結果了承。

2) 平成20年度評議員会、第114回総会の次第変更について説明、協議の結果了承。

3) 会則第19条を議案に加える件について。次第変更に伴い、協議題であった会則第19条第3項については、会則変更に関する議案の1項目として加えたい旨説明。協議の結果、承認。

4) 平成20年度評議員会、第114回総会、懇親会の当日運営の詳細については、執行部一任を了承。

5) その他

① 同窓会会長賞については、今回から最優秀賞1名、優秀賞2名(従前は会長賞1名、優秀賞2名)にしたことを報告。

# 保 険

## 在宅医療の取扱い

日本歯科医師会「歯科訪問診療における基本的な考え方」(2004)及び歯科診療に係る指針(2007.11)7章「高齢者の口腔機能の評価と管理の方法に関する基本的な考え方」を参考にすること。  
 ★歯科訪問診療を算定した場合は、初・再診療の算定はないが、障害者加算175点及び初診時歯科診療導入加算250点の算定は可。

訪問先		歯科訪問診療料(1日につき) (居宅・施設等の屋内で行った訪問診療に限る)		急性対応 (在宅患者等急性 歯科疾患対応加 算)(1日につき) 1回目 232点 2回目以降 90点	診療時間加算 (準備等に要した時間 及び併せて実施した 訪問歯科衛生指導に 係る時間含まず)	処置・手術・欠損補綴 及び歯冠修復の 50/100加算		
		訪問診療1:830点 訪問診療2:380点 (説明内容カルテに記載)				訪問算定患者	50/100加算の ◎患者	
居宅	1人目	(1) 830点	緊急 + 415点 夜間 + 830点 深夜 + 1660点	算定可	算定可	義歯修理・抜 髄・感根処・ 180点切開・普 通抜歯に限定	50/100の明細 書通りの点数 可	
	2人目以降	算定不可 (初・再診療及び特掲診療料により算定)		算定不可	算定不可	50/100加算の◎患者以外は算 定不可		
社会福祉施設等	1人のみ	(1) 830点	緊急 + 415点 夜間 + 830点 深夜 + 1660点	算定可	算定可	訪問算定患者又は50/100加算 の◎患者以外は算定不可		
	複数 人数	1人目	(2) 380点	緊急 + 190点 夜間 + 380点 深夜 + 760点	算定可	算定可	同 上	
		2人目 30分以上	(2) 380点	緊急 + 190点 夜間 + 380点 深夜 + 760点	算定可	算定可	同 上	
		30分未満 の診療	(初・再診療及び特掲診療料により算定)		算定不可	算定不可	50/100加算の◎患者以外は算 定不可	
レセプト記載上の留意点		全体の「その他」欄に 訪問診療1 830×回数 又は訪問診療2 380×回数		*切削器具及びその 周辺装置を常 時訪問先に携行 している場合に 加算	1時間を超えた場合30分 又はその端数を超えるごと +100 全体の「その他」欄 診療時間加算 100×回数	所定欄に50/100加算後の点 数・「特記事項」欄に「50/100」 記載(50/100加算の明細書使 用の場合、訪問算定患者は記 載注意)		
・その他		◎訪問診療を算定した場合、日 付、診療開始・終了時刻、訪問 先、通院困難な理由を、複数患 者に訪問診療2を算定の場合1 人目に限り(1人目)と記載  ◎同一月に訪問と外来診療がある場合はそれぞれ明確に区分できるように記載 §地域医療連携体制加算(1回限り、+300)を算定の場合、摘要欄に連携診療 所名記載		摘要欄にエンジン 又はタービンと記 載	◎訪問診療料の算定がで きる場合に加算可	◎訪問診療料の算定ができる 場合に加算可。但し、50/100 加算の◎患者の場合は訪問 診療の算定のない時でも加 算可 ◎訪問算定患者の管理・指 導・麻酔及び義管の50/100 加算はない。		
緊急・夜間・深夜に於 る歯科訪問診療加算		緊急加算(午前8時～午後1時) 夜間加算(午後6時～午後10時) 深夜加算(午後10時～午前6時) *夜間の取扱い:東京都は午後6時以後～午後10時以前(各都道府県により、概ね午後6時～午前6時、午後 7時～午前7時迄のように、深夜を除いた12時間を標準として統一的に取扱われている)						
カルテ記載上の留意点		☆1. 日付、開始時刻及び終了時刻 2. 訪問先 3. 通院困難な理由をカルテにも記載 ☆◎加算を算定した場合、切削器具の種類記載 ☆在口管、歯管は初診月から算定可 但し、要支援・要介護者は介護保険が最優先取扱い :当該患者の病状に基づいた訪問診療の計画・患者の状況及び提供した療養上必要な事項に関する情報等をカル テに記載 ☆有床義歯管理料:有床義歯の調整方法、調整箇所等をカルテ記載した場合に算定する。 ☆検査を行った場合は検査方法、検査結果等を記載(別紙記載可)						
◎「社会福祉施設等」には、介護老人保健施設、特別養護 老人ホームの他、歯科、小児歯科、矯正歯科又は歯科口 腔外科を標榜する保険医療機関以外の保険医療機関が含ま れ、これらに入院する患者についても算定される。		☆歯管(歯科疾患管理料):義管と同時に算定可 ・月1回:1回目130点、2回目(翌月)以降110点 ・初診日より1ヶ月以内に計画書提供、3ヶ月に1回以上提供 ・P、Gの患者:歯清+60点(2ヶ月に1回) ・対象疾患:う蝕、G、P、歯の欠損、軟組織疾患等 ・無歯顎の場合:特定疾患及びDul以外の口腔粘膜疾患等で軟膏等薬剤治 療を行っている場合に算定可!在口管も同様!FD製作中も算定可!						

# 及びレセプト・カルテ記載上の留意点

平成20年4月改定

<p>周辺装置加算 タービン使用又はエンジン使用 (訪問診療料に算定しない場合に算定可) +200点または+50点</p>	<p>訪問歯科衛生指導料 (「指示」に基づき指導, 指導内容文書提供) 訪衛指複: 350点 訪衛指簡: 100点</p>	<p>後期高齢者在宅療養口腔機能管理料 (在口管) ・月1回 (P・G: 歯清+60; 訪衛指と同時算定不可, 2月に1回) (☆文書提供: 3月に一回以上) 在宅療養支援歯科診療所が算定</p>
<p>算定不可</p>	<p>1対1で20分以上:(複雑) 350点 複・簡併せて月4回迄 1対1で20分未満及び複数同時40分以上:(簡単) 100点 * 居宅等の要支援・要介護者は介護保険で「予防歯科衛生士等又は歯科衛生士等居宅療養管理指導」350単位(月4回迄)訪衛指と併せて月4回</p>	<p>180点 (要支援・要介護者は除く) * 居宅等の要支援者・要介護者は介護保険で「介護予防居宅療養又は居宅療養管理指導」500単位を算定 (月2回迄) ケアマネージャーに情報提供行わなかった場合1回につき-100単位・初診日算定可</p>
<p>算定可 (急性対応と同時算定不可)</p>	<p>1対1で20分以上:(複雑) 350点 1対1で20分未満:(簡単) 100点</p>	<p>180点 (要支援・要介護者は除く)</p>
<p>算定不可</p>	<p>1対1で20分以上:(複雑) 350点 1対1で20分未満:(簡単) 100点 同時複数(10名以下)で40分以上: (簡単) 100点</p>	<p>180点 (要支援・要介護者は除く)</p>
<p>算定可 (急性対応と同時算定不可)</p>	<p>月に複雑・簡単合わせて4回迄 (訪問診療日より, 1ヶ月以内に4回迄) 全体の「その他」欄に 訪衛指複 350×回数 訪衛指簡 100×回数</p>	<p>全体の「その他」欄で 在口管 180点 * 義歯管理料と同時算定可 * 無歯顎の場合: 特定疾患及びDul以外の口腔粘膜疾患等で軟膏等薬剤治療を行っている場合に算定可。</p>
<p>「処置・手術」又は「歯冠修復及び欠損補綴」の「その他」欄で主診療行為の方に記載 タービン 200×回数 エンジン 50×回数</p>	<p>1. 日付・訪問先・通院困難な理由・指導開始時刻・終了時刻 2. 同一月に訪問診療がない場合は直近の訪問診療の月日 @ 歯科衛生士等が単独で訪問し指導した場合の再診料・実日数はカウントしない</p>	<p>* 訪問先, 通院困難理由, 指導実施時刻を記載 1. 居宅の2人目以降及び施設等の2人目以降で30分未満の患者に「在口管」を算定する場合は同一月に訪問の請求がないのでその旨を記載 2. 介護保険で「居宅療養管理指導」を請求する場合には歯管, 在口管, 区市町村・指定居宅介護支援事業者に対する情Iは医療保険では算定不可となる為, レセプトの摘要欄に㊦と記載する(例・毎月指導管理なしでPの処置等の請求が出てくる等)。 * 在宅療養支援歯科診療所 (施設基準あり) 以外の歯科診療所及び75才未満の場合は歯管 (歯科疾患管理料) で算定する。</p>
<p>㊦: 脳性麻痺等で身体の不随運動や緊張が強く体幹の安定が得られない状態, 知的発達障害により開口保持が出来ない状態や治療の目的が理解できず治療に協力が得られない状態, 重症の喘息患者で頻繁に治療の中断が必要な状態又はこれらに準ずる状態にある者をいう。 50/100加算㊦: 患者の障害に起因した行動傷害に対し開口の保持又は体位, 姿勢の保持の目的で, 治療を直接行う歯科医師に加え, 当該治療に歯科医師, 歯科衛生士, 看護師等が参画した場合等に算定する。</p>		
<p>☆訪衛指 (実地指・歯清含む) * 歯科医師は指示内容及び開始及び終了時刻をカルテに記載 (訪問診療の時刻と重複しない事) * 歯科衛生士等は実地指導に係る記録を作成し, 患者氏名, 訪問先, 指導の開始及び終了時刻, 指導計画に基づいた指導の要点, 主訴の改善, 食生活の改善等に関する要点及び担当者の署名を明記し, 主治の歯科医師に報告 * 訪衛指簡・複いずれの場合も指導内容等の情報を文書提供し, 写しを業務記録簿に添付</p>	<p>☆在口管 (後期高齢者在宅療養口腔機能管理料) 居宅等 (介護保険施設等含む) において, 療養を行っている後期高齢者であって通院が困難なものに対して, 患者又は患者の家族に対して「在口管に係る口腔機能管理計画書」を提供した場合に患者一人につき月1回算定。3ヶ月に1回以上交付 (写しをカルテに添付)。計画書交付のない月は管理内容の要点をカルテに記載。P, Gの患者の場合は, P検査実施し, 治療方針等を含めた計画書とする。義管 (義歯管理料) と同時算定可。 ☆在宅患者連携指導料 (月1回) (他職種との連携) 900点 ・医療関係職種間で文書等により同一患者に対する訪問診療情報を共有し, それに基づき指導を行った場合 ☆在宅患者緊急時等カンファレンス料: 200点 (月2回まで) ・医療関係職種等がカンファレンスを行い, その結果を踏まえて指導を行った場合 ・初・再診料及び歯科訪問診療料の算定は原則不可 ★退院時共同指導 1: 1. 在宅療養支援歯科診療所600点 2. 1以外300点 (歯科医師又は歯科衛生士等が病院に赴き文書提供) ★後期高齢者終末期相談支援料: 200点 (1回のみ)・話し合い内容要点・提供文書等写しカルテ添付, 算定は退院時又は死亡時 (20年7月1日より凍結)</p>	

# 東京歯科大学 創立120周年記念事業

## 大学の水道橋移転関係報告について

理事長 熱田 俊之助  
学 長 金子 譲

同窓会会員 各位

大学の水道橋移転計画については、平成20年3月に開催された第648回理事会、第217回評議員会にて実施決定がなされ、その内容を東京歯科大学同窓会会報第364号掲載記事（本年6月発行）、同第365号掲載座談会（同8月発行）等でお知らせして参りました。

以来、各方面から準備を進めて参りましたが、今般新たに決定したことについて、会員各位へお知らせいたします。

### 1. 水道橋校地候補の取得について

現在の千葉校舎を水道橋へ移転するにあたり、大学機能を必要十分に維持できるだけの校地候補を検討しておりました。その中で、第653回理事会（平成20年12月3日開催）の承認を受け、神田駿河台二丁目の土地約150坪を取得いたしました。

### 2. 学校法人昭和一高学園との校舎共同開発事業解消について

当初の基本構想においては、学校法人昭和一高学園と共同で校舎を建設することとしており、実際の交渉権は得ておりましたが、同校の諸事情によって計画保留となり約1年が経過し、本学の将来構想を策定する上で不確定要素が多く存在することから、前項の土地購入に伴い共同開発事業を解消することが同理事会において承認されました。

以上により、今後はTDCビル敷地、リパーク駐車場跡地、及び神田駿河台土地の3箇所を水道橋校地（予定）として検討を進めて参ります。

今後もお知らせについては会報等を通じて随時行いたいと考えております。会員各位におかれましては、本計画へのご理解・ご協力をお願いいたします。

平成20年12月24日



### 『東京歯科大学口腔がんセンター』

東京歯科大学口腔がんセンター長  
教授 山根 源之

(東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座)



平成18年4月1日に「東京歯科大学口腔がんセンター」(以下口腔がんセンターと略します)は市川総合病院内に新しい施設として開設されました。金子学長の発案で平成17年6月22日に第1回開設準備委員会が開催されました。その後数回の準備委員会にて検討し、開設の運びとなりました。実際の診療開始は開設3ヵ月後の7月1日からで、平成20年12月で約2年半経過しました。口腔がんセンターのある市川総合病院は、昭和21年の開設以来60数年を経過し、現在では21診療科、6センター、そして570床の中規模地域基幹病院となっています。

#### 設立の目的

設立の目的は、口腔がん患者さんに対して安全で質の高い医療を提供するためです。以前より口腔がんは本学では口腔外科が中心となりその診断と治療を行ってきました。口腔がん患者さんは若年齢から高齢層まで広く見られますが、高齢社会の現在では高齢の患者さんが急増しています。高齢になるほど口腔がん患者さんは循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌疾患(糖尿病)等を有することが多くなります。

口腔がんは口腔領域に隣接する耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科等との共同診療が求められます。また、治療は手術療法のみならず放射線療法も大きなウエイトを占めていますので放射線科とは常に連携していま

す。また口腔の原発部位から肺に遠隔転移を起こしますと呼吸器内科の専門的診療が求められます。最近では口腔がんと食道がん、胃がんなどの上部消化器がんとの重複は自験例でも10数%の割合で発生しています。さらに大腸がんとの重複も予見されていますので口腔がんセンターの患者さんは外科、内科での内視鏡検査をスクリーニング検査のひとつに加えています。このように口腔がんの診断と治療のためには医科各科との連携を密に行う必要があります。本学附属の市川総合病院、千葉病院、水道橋病院ではこれまで多数の口腔がん患者さんに対応してきました。同窓の皆様からも多数の症例をご紹介いただいております。開設の目的にありますように、口腔がんに対してより一層充実した対応を可能にするため、特に医科各科との連携が必要な症例は3病院共通の口腔がんセンターに集約しています。

#### 組織と人員

口腔がんセンター運営委員会委員長は学長で、委員は副学長をはじめ3病院の病院長、センター長、大学の事務局長、市川総合病院事務部長他から構成され、医師の理解と協力で円滑に運営されています。

開設時より常勤専任歯科医師は2名です。現在では千葉病院口腔外科から山内智博講師が、市川総合病院歯科・口腔外科からは佐藤一道助教が配置転換で配属されています。セ

ンター長は市川総合病院歯科・口腔外科部長の私が併任しています。その他、専任職員は歯科衛生士が1名で奥井沙織、看護師は1名、クラーク1名です。これに千葉病院口腔外科の柴原孝彦、高野伸夫、内山健志の3教授と水道橋病院口腔外科の柿澤卓教授および市川総合病院の関連診療科医師・歯科医師が併任という形で加わっています。(図1)

#### 外来と診療内容

口腔がんセンターの外来は病院2階に新設され、歯科診療ユニットを備えた診療室が3室、ベッドのある診察室が1室、カルテ記載や患者説明用の小部屋が1室、その他器材準備室等の付属施設があります。建坪率が許容限度一杯の市川総合病院です。十分なスペースとは言えませんが病院の暖かいご配慮で場所を確保することが出来ました。口腔がんセンター初診患者さんは原則として3病院からの紹介による転科の形をとっています。基本的には治療が終了した後はそれぞれの病院へ戻っていただいております。

症例に応じて放射線科や関連医科とのカンファレンスを行っています。手術症例では麻酔科の協力が必要ですが、市川総合病院麻酔科には本学の歯科麻酔科から縣秀栄講師が常勤で派遣されています。臨床検査科病理の田中陽一教授には初診時から患者さんの病変部を実際に見ていただき、術前の細胞診・病理組織



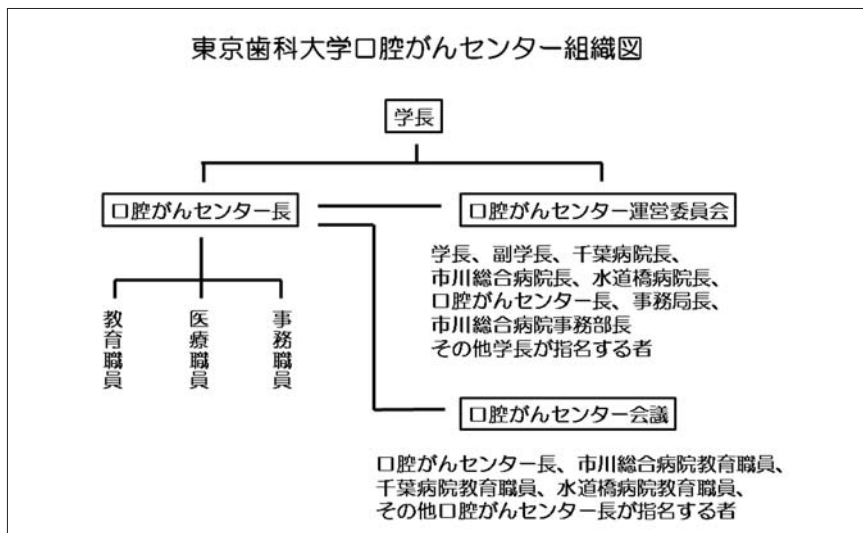


図 1

検査、手術中の迅速病理検査、術後標本の詳細な検診など一緒に行っています。外来内視鏡検査機器は、口腔および耳鼻咽喉科的診査に使用されていますが、術前術後の摂食・嚥下機能評価にも嚥下内視鏡として活用しています。口腔がんは原発部切除や頸部郭清手術だけでなく、術後の再建が患者さんの生活の質を確保するために重要です。再建には必要に応じて形成外科と共同であったり、咀嚼機能回復にはインプラント治療も応用しています。頬骨体を利用したサイゴーマインプラントなど種々の手法で良好な結果を得ています。さらに手術後の摂食・嚥下・発音などの口腔機能の評価、口腔機能回復も重要な役割ですので、オーラルメディスン・口腔外科学講座の協力を

得て行っています。

術前より NST(栄養サポートチーム)による栄養評価のもと適切な栄養指導を行い、術後の経管栄養についての指導やこれに伴う投薬に関する指導を術前より行うなど、総合病院のメリットを生かした周術期の患者管理を実践しています。

口腔がんセンターでは、手術前から専任の歯科衛生士による口腔清掃をはじめ口腔機能の維持管理を積極的に行っています。加えて、他部位のがん患者さんで化学療法や放射線療法で口腔に問題が生じた患者さんにも各科からの依頼で対応しています。(写真)

### 病棟

病棟は歯科・口腔外科病棟と同じ3階東病棟に置かれ、当直および入

院患者管理等は歯科・口腔外科医員と一緒にしています。口腔がん手術後は、ほとんどの症例は手術室に隣接する HCU (High Care Unit) にて集中管理されています。

### 患者実績

センター開設後2年間に136名の患者を担当してきました。患者の紹介元は主として3病院の口腔外科で、市川総合病院からは97名、千葉病院からは19名、水道橋病院からは3名、その他は院内他科、歯科開業医、周囲の病院等からの紹介です。疾患別内訳は舌がん39例、下顎歯肉がん29例、頬粘膜がん14例で、上顎歯肉がん、口底がん、その他でした。初診時年齢は90歳代3名を始め、平均66.6歳と高齢でした。

平成20年度からは文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」の臨床研修の場としての役割が加わりました。そのコーディネーターを千葉病院の片倉 朗准教授が担当しています。また、平成20年2月より市川総合病院は厚生労働省より千葉県における地域がん診療連携拠点病院として指定されました。指定時には口腔がんセンターの存在が高く評価されました。

以上のように、口腔がんセンターは口腔がん治療の最先端となりうる環境が整っていますので、今後より一層の努力を積み重ねていきたいと考えています。



口腔がんセンター 外来風景

# 支部のうごき

## 掲示板

\*この掲示板は、同窓会ホームページ [http : www.tdc-tdc-alumni.jp](http://www.tdc-tdc-alumni.jp) にも掲載されています。  
日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。  
印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日時	演題及び講師 又は事業内容	会場	主催 連絡先	外部より 参加可否
平成21年 5月30日 午後4時50分	(演題未定)  中川寛一教授 (東歯大歯内療法学講座)	岩国国際観光ホテル 山口県岩国市1-1-7 TEL 0827-43-1111	中国地域支部連合会 山口県支部長：楊井 孝 TEL 0827-72-2330 FAX 0827-72-3355	一般も可

## 九州地域支部連合会

### 九州各県支部総会・懇親会

10月18日(土)午後6時より、ホテルオークラ福岡にて東京歯科大学同窓会九州地域支部連合会総会・懇親会を開催しました。

この18日と翌19日に福岡市で行われる九州歯科大学大会に併せての開催で、九州各県より48名が出席しました。来賓として大学より薬師寺仁副学長、同窓会本部より江崎梅太郎副会長、関 泰忠専務理事、濱田孝一

九州地区理事をお迎え致しました。

主催側の石田雅男福岡県支部長の挨拶で始まり、江崎副会長、関専務理事より同窓会の現況等について、又薬師寺副学長からは母校の現況、特に国家試験の状況や大学の水道橋移転等についての報告が行われました。

その後懇親会に移り、江崎副会長の乾杯の発声で開宴し、各テーブルでは年令の近い先生方が学生時代の

思い出話に花を咲かせたり、また懇親会途中には翌日の学会でご講演いただく同窓の加藤武彦(神奈川県開業)、細山 愷(新潟県開業)両先生も駆けつけていただき、多いに盛り上がっていました。

最後に次期開催県の吉澤健介大分県支部長の挨拶のあと、全員による校歌斉唱で懇親会は盛会裏に終了し、会場を移しての二次会、更に歓楽街中州へと続けました。

(永江健一 記)



## 近畿地域支部連合会

### 第61回近畿地域支部連合会

平成20年11月23日(祝)、小春日和のもと大阪府支部の担当でリーガロイヤルホテル大阪にて開催されました。来賓として大学より金子 譲学長、薬理学講座川口 充教授、同窓会本部より大山萬夫会長、神谷龍司副会長、小室 甲理事を迎え、2府3県の会員及びご家族も含め計60名が集いました。田丸秀夫副支部長による開会の辞で始まり、校歌斉唱、黙祷、西尾敏生支部長の挨拶の後、大山萬夫会長より本部の近況が伝えられました。その後金子 譲学長から本学の経営及び歴史、特に校舎が水道橋より千葉に移転するまでの詳しい説明があり、いま再び校舎を水道橋に戻すという計画は決して郷愁などの単なる情によるものではなく他大学との競争と連携の必要性、入学志願者の減少等諸問題への対策で

あり、一流の歯科大学であり続けるために必要であると説かれました。神谷龍司副会長からは、同窓会は常に会員より広く意見を求める姿勢にあることが伝えられました。そして最後に次期当番である兵庫県支部の宗本匡由支部長より、今回の近畿地域支部連合会は平成21年11月23日に神戸三宮にある生田神社にて開催する計画であると説明がありました。総会は稲野順治副支部長の閉会の辞にて閉会となりました。

続いて薬理学講座川口 充教授による講演会、「口腔機能の社会的評価・認識の向上を求めて」が開かれました。まずは会員より要望のあったビスホスフォネートと顎骨壊死との関係を説明され、次に「古くて新しい薬」としてユージノールとグアヤコール、及び三酸化砒素についての講義があり、更に口腔乾燥への対

策、最後に薬理学の教育についても触れられました。大変内容の濃い、貴重な講演をしていただきました。

その後はホテルの写真室にて集合写真を撮影し、続いてホテル内での別会場で懇親会が開かれました。プロのものまねマジシャン Mr. Shin による本格的且つ楽しいマジックをみながらフランス料理のフルコースをいただきました。小室 甲地区理事の閉宴の挨拶にて散会となった後も名残り惜しい様子で、なかなか会場を離れることのできない先生方も多数おられました。

翌日の24日には大阪府の伏尾ゴルフ倶楽部にて参加希望者のみでゴルフコンペが開かれました。11人の先生方が参加され、大阪府支部の浅野正則先生が優勝されました。

(大阪府支部 広報担当理事  
高木祥広 記)



紙面の都合により一部順序入れ替えております。

## 神奈川県支部連合会

平成20年度定時評議員会・総会・講演会・懇親会開催

12月7日（日）ローズホテル横浜において、平成20年度定時評議員会・総会・講演会ならびに懇親会が開催された。

評議員会は午後2時30分より加藤木 健会長の挨拶の後、議長に佐久間博一評議員会会長、副議長に村山正之評議員会副会長が選出され議事に入った。

各種報告の中で、本年度逝去された会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた。その後、諸議案について慎重に審議が行なわれ、採決の結果、すべての議案が賛成多数で可決承認された。

総会は、はじめに加藤木会長の挨拶があり、「リーマンショックにはじまる世界的大不況。我々歯科界も問題が山積しているが、安心して診療が出来る医療体系の確立を目指すべく連合同窓会も力を合わせてこの難局を乗り越えて行きたい」と述べられた。その後、本部同窓会より服部玄門副会長と本学井出吉信副学長をご来賓としてお迎えしご挨拶い

ただいた。

次に村山評議員会副会長が議長として登壇し議事が進行した。諸報告、諸議案も順調に賛成多数で可決承認され総会は滞りなく終了した。

続いて講演会に移り、本学副学長の井出吉信先生に「大学を取り巻く現状と創立120周年記念事業について」と題しご講演いただいた。

井出先生は、まず入試の現状、修学状況、国家試験結果など教育面から見た現況を報告され、次に移転の目的と大学を取り巻く環境、さらには今後の計画について詳しくかつ大変わかりやすくお話し下さった。そ

して我々の最大の目標は教育、研究、そして診療すべてにおいて「一流の東京歯科大学」を維持していくことであると結ばれ、会場からの大きな拍手をもって有意義な講演会は幕を閉じた。

懇親会は午後6時30分より、本学より井出吉信副学長、本部同窓会より服部玄門副会長をはじめ多くのご来賓をお迎えし、山本照一相談役の乾杯で開宴した。途中で敬老祝賀会員への記念品贈呈や新入会員紹介などがあり、大きな拍手が贈られた。和やかな雰囲気の中に時は過ぎ、最後に毎年恒例の全員で校歌を斉唱し閉会した。

(宇佐美貴弘 記)



## 茨城県支部

### 総会及び学術講演

平成20年度同窓会定時総会並びに学術講演が、12月7日(日)午後1時30分よりホテルホリデーインにて、37名の会員出席のもと開催されました。

同窓会本部より副会長 片倉恵男先生、大学より大学院歯学研究科長 柳澤孝彰先生をお迎えいたしました。

荒野 実幹事長の司会により、副支部長大峰秀樹先生の開会挨拶後、新入会員として本間留美果先生、田中ひとみ先生の紹介があり、本年他界されました立原 健先生のご冥福を祈り黙祷をささげました。

報告事項として、山口忠夫支部長よりご挨拶と11月開催された評議員会、沿革史製作の現況等の報告、その他の役員の報告事項が為されまし

た。また、沿革史委員会より小鹿典雄先生が現時点で近況報告をされ来年3月までに製本予定との報告がされました。

議事については議長の牧 厚志先生の取り纏めにより第1号議案から第4号議案まで滞りなくすべて承認されました。

副会長小鹿典雄先生の総会閉会の挨拶後学術講演が開催されました。

講演は口腔科学研究センター口腔インプラント学研究部門主任教授

で、本県出身の吉成正雄先生に「口腔インプラント学 研究と教育の展望」の演題でお話を伺いました。総会が長引いたため講演時間を短縮していただき大変申し訳なく思いました。

記念写真撮影後、副幹事長の大金誠先生司会により懇親会が行われました。田崎之光先生乾杯発声の後約2時間ほどお酒が進むにつれ先輩後輩和気藹々となりつつ終了し、片倉先生共々二次会に至りましたことをご報告いたします。

(沼田裕之 記)



## 千葉県支部

### 平成20年度定時総会

千葉県同窓会会長が前任の浅野薫之先生から曾我部 勉会長に交替してから一年近くが経過した年末の12月7日(日)に千葉市の京成ホテル・ミラマーレにて、過去最高となる100名が出席し、平成20年度千葉県同窓会定時総会が開催されました。

総会の前に次期県歯会長に立候補を表明されている浅野薫之先生を支援する会と社保講習会が行われました。

その後総会に入り、曾我部会長挨拶、来賓の同窓会本部柳 清二副会長、大学から熱田俊之助理事長、薬師寺 仁副学長にご挨拶をいただきました。

曾我部会長からは、冒頭、この一年で一番大きな出来事は何と言っても井上 裕前理事長の急逝である旨の深い哀悼の意を述べられました。また、次年度の問題として、現在千葉県は一支部としては会員数419名で最大であり、支部から出ている評

議員の数が会員82名に1名と周辺の支部に比べて比率が悪く約半分となっている。このままで良いのか、幾つかの支部に分けた方が良いのかや、その他の千葉県同窓会会則の見直しについて今後一年かけて検討していく方針が示されました。

柳同窓会本部副会長は、東京支部連合会の不祥事への本部の対応や会則変更についてお話しになり、大学と同窓会がお互いに信頼し合う事こそが大切だと力説されました。

熱田理事長は、大学の水道橋移転について故井上 裕前理事長の意志を引継ぎ大学発展の為、各方面との十分な協議と説明責任を尽くした上で成し遂げる決意を述べられました。

薬師寺副学長からは、地元の千葉県としては関心の深い病診連携の観点から水道橋移転後の千葉病院について触れられ、現在の国内外の経済情勢から千葉病院の敷地の売却はできず、売却を凍結し、建物も壊さず、使用する診療施設のみ電気水道

などを維持し、他は閉鎖するとのお話がありました。

その後、議長、副議長を選出し、会務報告、会計報告、監査報告などがあり、今年度17名の新入会員の紹介、議事に入り、各種会計の決算、現況、予算、事業計画が順次つつがなく承認されました。続いて、現県歯副会長の浅野先生を次期県歯会長に推薦する件につき協議が行われ、全会一致で県同窓会を挙げて強力に支援し実現する事を決議しました。

総会終了後の懇親会では、来賓の山根源之市川病院副院長が出張の為代理の外木守雄准教授が到着され、市川病院の現状説明の中で看護師が不足しているのをお心当たりの方は是非ご紹介をお願いしたいとの事でした。

千葉県では第23代県歯会長の百束尚彦先生(在昭和58年4月～昭和60年3月)以来同窓の県歯会長が誕生していませんが、久々の好機到来に同窓として一枚岩となるべく団結し、大変盛り上がりのある会となりました。(長野恭輔 記)



## 横浜北部支部

### 平成20年度総会及び懇親会開催

平成20年11月29日(土)午後7時より新横浜国際ホテルにおいて横浜北部支部定時総会・懇親会が行われました。総会は庶務の大橋 擁先生の司会で、犬飼和春副支部長の開会に始まり、中島文和支部長の挨拶とつづき、議事が進行されました。矢島満副支部長の閉会で総会は滞りなく終了しました。

懇親会は岩本正晃副支部長の司会で、花井正二先生の乾杯で開会しま

した。旧来より当支部では村田基生先生のご協力で栗拾いや芋掘りなどのレクリエーションを行っておいりました。近年は場所の関係で行われず残念ですが、中島支部長が保存されていたそれらのビデオや写真を見ながら和気あいあいと昔話に花を咲かせ楽しい一時を過ごしました。当支部は65名の会員を有し、本年度は5名の新入会員が入会するなど、同窓の和を広げつつあります。今後も会員が協力して、親睦が図れるよう

な会にしようということを確認して閉会となりました。

出席者は以下の通り

西山(S28), 飯嶋(S46), 犬飼(S47), 杉原(S47), 西山(S57), 小笠原(推薦), 花井(S30), 佐藤(S39), 矢島(S52), 小笠原(S56), 加藤(S62), 花井(H4), 安藤(H7), 岩本(S46), 木村(S25), 村田(S34), 中島(S42), 大橋(S50), 村田(H7)

(花井淳一郎 記)



## 横浜鶴見支部

12月20日(土)午後7時30分より、京浜急行鶴見市場駅前の大衆酒席「正木屋」において鶴見東歯会忘年

会が17名の参加のもと開催された。

中城基雄会長が1期2年間を振り

返り謝辞を含めた挨拶の後、酒井眞一次期会長が「とにかく楽しくやってみましょう」とにこやかに挨拶された。

続いて、今年めでたく喜寿を迎え



た宇佐美雅弘先生と還暦を迎えた佐藤秀夫先生の益々のご健勝を祈念し、本会より金一封が贈呈され大きな拍手で祝福した。

次に、病気療養中にもかかわらず「年に一度はみんなの顔が見たい」と笑顔で出席の石井 昭先生にお見舞い金が贈呈された。ここでも先生の病気を払いのけるように大きな拍

手が送られた。

ビールが注がれ、鈴木 裕先生の乾杯の発声でグラスを高々と上げて宴会スタート。

前菜の鱈の白子から始まり、お刺身、芝えびの唐揚げ、特製もつ煮と呑ん兵衛にはたまらない料理が次々と運ばれお酒もどんどん進み大いに盛り上がった。

恒例の会員近況報告では、それぞれが今年を振り返り、来年こそはより、まずは「健康第一」と焼酎のおかわりを頼みながら抱負を語った。

午後10時。井澤政紀先生の閉会の辞で中締めとなった。

(宇佐美貴弘 記)

## 横浜南部支部

### 平成20年度総会・懇親会開催

平成20年12月13日(土)午後6時30分より、横浜市金沢区能見台のレストラン「山水」において平成20年度の総会ならびに懇親会が開催された。

ここ能見台は、明治30年代、野口英世博士が渡米前に赴任した横浜海港検疫所があったところで、現在は当時の器材を保存した検疫資料館や旧細菌学研究室が長浜野口記念公園と称する緑地内にある。さらに隣接する現役の横浜検疫所の前には野口博士のブロンズ像が置かれているという博士ゆかりの地である。ちなみに野口博士はここでの功績が認められて清国に派遣されるが、血脇守之助先生の有名な「世の中は五分の真味に二分狭気あとの三分は茶目でくらせよ」という歌は、その折り野口博士に贈られたものだという(大学ホームページより)。

さて本題にもどって、総会は鈴木

信治専務理事の司会で進行し、玉井達人支部長が本年度の当支部の活動状況、神奈川県支部連合同窓会の状況、本部同窓会の現況など、報告を兼ねた挨拶を行った。引き続き来賓にお招きした神奈川県支部連合同窓会杉山紀子副会長にご挨拶をいただいた。会員には杉山先生のファンが多く、優しい口調で話される杉山先生の挨拶に一同聞き惚れた。その後鈴木専務理事より新入会員(玉井直人君、平成19年卒)の紹介と会務報告が、さらに甲田正治会計担当理事から会計報告が行われた。甲田理事は、ここ数年の財務状況を詳細にわたって分析され、将来の財政展望を披露した。ついで議案に移り、平成20年度会計ならびに平成21年度事業計画並びに予算案が満場一致で承認された。

総会后、本会恒例のミニ講演会が行われた。今回は予定されていた武内陸郎会員が急用のため欠席され

たので、急遽浜野弘規会員が「食育の大切さ」という演題で講演された。

この講演内容は、過日浜野会員が中学・高校の母校である聖光学院(横浜の名門校)で中高生向きに講演したものの縮小版で、220人の生徒を前に、歯科医となって母校で講演できた喜びを満面の笑みをたたえながら話された。

懇親会は、山下正雄会員の乾杯のご発声で開始された。新鮮な鮪のカルパッチョに始まった「山水」自慢のイタリア料理は瞬くうちにたいらげられ、一同満腹となったところでちょうど時間となり、山下 誠副会長の閉会の辞でお開きとなった。

(広報・渡邊宇一 記)





## 横浜西部支部

### 一泊総会・懇親会

平成20年11月12日(水)、瀬谷区の辻村育郎君、山之内正己君が幹事となり、「湯本富士屋ホテル」において総会が開催された。今回は、会員22名の参加があった。

午後5時より、本会員の武居 純先生による、「ボストン大学留学記」との演題にて、学術講演会が開かれた。ご本人が大学卒業後、6年間、ボストン大学へ留学されていた時期のお話で、アメリカの最新歯科事情の中で、日本との違いから見え

てくる特徴や問題点等、大変興味深い内容であった。

講演会終了後、総会が開かれた。はじめに島田英明支部長より、開催の挨拶、会務報告がなされた。続いて、萩原 功君より会計現況報告がなされた後、新入会員の水口浩司君の紹介がなされた。

総会終了後、場所を宴会場へ移し、島田英明支部長の挨拶の後、杉山紀子神奈川県連合同窓会副会長より、県連合同窓会の報告がなされた。続いて、佐藤卓朗君の乾杯の発

声で宴に入った。皆、日頃のストレスも忘れ、お酒が進み、会話も楽しく弾み、終始和やかな雰囲気であった。途中、次期幹事が瀬谷区の担当に決まり、挨拶が行われた。その後も、宴会は楽しく続き、皆、時間が経つのも忘れ、宴もたけなわであったが、佐藤信之副支部長の閉会の辞をもって終了となった。その後、記念撮影を終え、宴会終了後も、2次会へ流れ楽しい夜を過ごした。会員の先生方、お疲れ様でした。

(中島清司 記)



## 神奈川相北支部

### 平成20年度総会・学術講演会

平成20年11月15日(土)、小田急ホテル C.H. 相模大野にて相北支部総会が開催された。当日は会員24名の出席があり、来賓として、島村大神奈川県支部連合同窓会副会長、総会後の講演会講師として、佐々木次郎東海大学医学部名誉教授をお迎

えした。

総会は、村山正之支部長の挨拶に始まり、河原武彦議長の下、高橋庸理事の庶務報告、小島正裕理事の会計報告、関戸幹夫監事の監査報告と滞りなく進み、承認された。その後、島村 大副会長より、懸案の神奈川県の保険現況、県連盟の活動報

告等があった。

講演会は、「歯科診療を安全に行うために……止血に困難を生じやすい薬剤と注意点」の演題で、抜歯時において抗血小板剤、抗凝固剤を止めるか否かなどの内容だったが、いつもながらの佐々木次郎先生の軽快なそして思わず聞き入る話に時の過ぎるのを忘れるほどの楽しい講演であった。

総会は、ひとまず田中恭三副支部長の閉会の挨拶があった後、全員で記念撮影をした。

懇親会は、渋谷利雄前支部長の乾杯で始まり、何人かのスピーチの中で、多くの教授を輩出した第一期生

の畦森公望君から、予科時代の青春の思い出、日本各地から優秀な学生が集まった学部思い出等が語られ、伝統ある東京歯科の成り立ちに感慨を新たにしました。その後、お楽しみ抽選会が行われ、当選者が一つの

テーブルに集中したため、これはおかしい！という声が上がったり、和気あいあいのうちに来年の再開を期して散会した。

(新倉良一 記)



## 東 信 支 部

長野県の東側に位置し、長野新幹線で東京駅に約1時間で着く地域の東信支部は11月30日(日)佐久市内の佐久ホテルに於いて、午後4時

より平成20年度総会、講演会及び懇親会が開催されました。

全支部会員数41名中の24名が総会に出席しました。議事内容は事業

⇒①定時総会・役員会の開催、②信越地域支部連合(長野、新潟)・長野県連合(東中南北の4支部)各総会の参加協力、③保険講習会の開催、④親睦ゴルフコンペの開催等で、他に会計報告や次年度事業計



画、予算が討議されました。さらに本部評議員会報告では大学移転問題（賛否、進行状況、要望など）創立120周年記念事業に対し多数意見が出され、また長野県内4支部の統合問題の進行状況報告もありました。最後に平成21年度の支部長を上田市・S45年卒の佐藤秀道先生を選出して閉会しました。

総会後の記念講演は川崎市開業、

厩田克巨先生（S44年卒）による「日常役立つ歯科臨床」と題して行われました。先生の診療室での便利な道具、機器、薬品等の治療技術や使用方法、購入場所の紹介。院内のPCシステム、A、KJBTについての患者管理。労働契約書、給与などの従業員管理。将来、オンライン請求に対応できる保険&一般診療報酬などの講演で、老若先生皆に大好評

でした。後に詳しい商品名、購入方法の問い合わせが多く聴講の先生にFAXするほどでした。

懇親会は先輩・後輩が歯科医師会・同窓会の情報、個人情報、同窓生の消息、診療方法、ゴルフ談義等々飲み、語り合い、和やかな宴会となりました。

（土屋 潔 記）

## 静岡県支部

### 平成20年度総会

平成20年12月14日(日)午後3時30分よりホテルアソシア静岡にて東京歯科大学同窓会静岡県支部総会と記念講演・懇親会が開催されました。

総会では、ご来賓として同窓会本部より神谷龍司副会長、記念講演の講師として山根源之東京歯科大学市川総合病院副病院長、太田昭二静岡県歯科医師会副会長をお迎えいたしました。報告・協議事項の前に山根源之先生、神谷龍司両先生より、大学の現状や水道橋移転などのお話を頂きました。山元雍久議長の進

行で無事総会も終了しました。

続いて山根源之先生により「日常臨床における口腔粘膜疾患への対応」という演題で記念講演が開催されました。普段、見慣れている口腔内ですが、見逃してしまいそうな症例など、貴重なスライドを提示して頂き、わかりやすい説明で口腔粘膜疾患と全身の疾患の結び付きなどあらためて理解できました。

講演終了後、会場を移し懇親会が行われました。まだまだお元気な坂本豊美先生の乾杯のご挨拶の後、盛大に始まりました。固い総会の後

ですからお酒も入り、各テーブルでは本音の話などが聞かれたり、昔話に花が咲いたのではないのでしょうか。出席者は60名程でしたが、大いに盛り上がり平成20年度の県支部の行事も無事終了致しました。

（佐藤仁裕 記）



## 愛知県支部

平成20年度東京歯科大学愛知県同窓会総会が、平成20年12月7日(日)15:00より、名古屋クラウンホテルにて開催されました。

井上好平副会長の開会の辞に続き、牧野健司愛知県同窓会会長より支部会計の立直しが急務である等々の挨拶があり、続いて今年度お亡くなりになられた4名の物故会員への黙祷、ご来賓の東京歯科大学法人主事・平井義人教授より大学の近況水道橋への移転問題等々について丁寧な報告、神谷龍司本部同窓会副会長より水道橋移転の補足説明がありました。

その後、大野徹弘先生が議長に選出され、各常任理事からの報告、平

成19年度収支決算の承認を求むる件、医政対策費の名称変更の件、共済規定改定の件等の議事は滞りなく進行しました。瀧 義胤先生の百寿のお祝い、新入会員・井上敬介先生(平成9年卒)、井上貴詞先生(平成12年卒)(両先生とも井上好平副会長のご子息)の紹介と続き、山田有副会長の閉会の辞にて無事総会は終了しました。

記念講演は、ご来賓に愛知県尾張旭市長・谷口幸治先生(愛知学院大学歯学部卒)をお迎えし、講師として本学・昭和43年卒で、千葉県市川市長である千葉光行先生にお願いしました。演題は「自治体における歯科の位置づけ」です。市川市は、

WHO健康都市として特定健診・特定保健指導に口腔機能健診を組み込む事業、20歳になった市民の歯科健診(パノラマX線撮影も行なう)、いきいき歯力健診、ヘルシースクール等、数多くの歯科関連事業が行なわれているそうです。非常に貴重な講演をしていただき、大変参考になりました。

その後、恒例の懇親会に移り、ご来賓の宮村一弘県歯会長のご挨拶の中で次期県歯会長選挙への出馬を表明され、新入会員の井上敬介、井上貴詞両先生による乾杯の音頭で和やかに酒宴は進み、全員で恒例の校歌を合唱し、お開きとなりました。

(杉浦正人 記)

平成20年度東京歯科大学愛知県



平成20年度東京歯科大学愛



## 鹿児島県支部

### 児玉先生米寿祝い

鹿児島県歯科医師会には、入学規定が70歳以上である雀大学というのがあります。今年米寿を迎えられる先生が5人いらっしゃるということで、11月22日に米寿祝い会がありました。その中に、同窓会鹿児島県支部の長老である児玉利徳先生も米寿を迎えられるということで、雀大学の学生ではない同窓会会員にも声がかかりましたので、鹿児島県支部の10名程が出席させていただきました。

### 一泊旅行

11月23、24日で熊本方面へ、貸し切りバスでの一泊旅行を行いました。中央駅に集合する頃はあいにくの雨模様でしたが、熊本に入る頃には雲は多いものの雨は降らず、俵山扇坂展望所からの展望もなかなかのものでした。白川水源でおいしい水を飲んだ後、高森で田楽の昼食を取りました。その後、阿蘇山山頂まで上り、阿蘇猿回し劇場で大笑いして阿蘇内牧温泉のホテルにチェックイン。宴会は、帰ることを心配しなくてもいいということと、年齢は離れていても、同窓ということで気兼ねなく話すことが出来ましたので、夜遅くまで飲んでしまいました。

翌日は朝から天気予報通りの雨が降ってしまい、予定の大観峰へは行かず、その次の予定で今回のメインである熊本城本丸御殿大広間の見学に行きました。その後は、御船にあるサントリービール工場に行き、工場見学の後、併設されているレストランでビールを飲みながらジンギス

カンを食べました。なお参加者は以下の12名でした。(敬称略)

篠原壽宏, 中村逸朗, 下野久夫,  
飯野和男, 内山太一郎, 橋口哲彦,  
上村 光, 森原和久, 山崎 学,  
重久清孝, 米良豊常, 長田 博

(長田 博 記)



## 巨樹王国

### 山形県

山形県に日本一のものが数多くあるが、他の追尋を許さないのが巨樹の多さだ。巨木とは「地上から約130センチの位置での幹周りが300センチ以上の木」を云い、一応500センチ以上を巨樹という。私は20年以上も全国に6万5千本以上ある巨樹達に会いたいと思い、その思いを共に味わいたいとカルチャーセンターで「瀧ときめ樹-巨樹探訪」の講座を持っている。

県内を大まかに4地区に分け特色や私の思い出に残る巨樹を探訪する。今年注目を集めている直江兼統所縁の米沢、置賜には、エドヒガンザクラの巨樹が多い。春には、「置賜サクラ回廊」として多くの花見客が押し掛けてくる。特筆は国指定の「伊佐沢の久保ザクラ」と「草岡の大明神ザクラ」（幹周り10.9メートル全国2位）だ。満開のザクラを愛でながら米澤牛を食するのは至福の

ときだ。

内陸の中心地村山は、サクランボ、紅花、イモ煮会、スキーで賑わう。温泉の近く「東根の大ケヤキ」の樹姿の偉容は会う者に感動を与える。因に温泉は山形県内全ての市町村にあり、多くは源泉かけ流しである。県民の週末の楽しみは、生蕎麦かラーメン（消費量日本一）を食べ、温泉に入ることである。月山を望む「大井沢の大栗」は山奥にいるが近くまで車で会いにいける。この樹のもとでワインか地ビールを飲むのも良い。

藤沢周平を生んだ庄内では、大きな岩牡蠣を食べるのが夏の風物詩だ。出羽三山「羽黒山の杉並木」があり、その中心は「爺杉」だ。鶴岡市水沢・熊野神社の大杉と温海町・山五十川の玉杉の圧倒的な樹姿と重量感に畏敬を感ずる。ケヤキは、鶴岡市「ほうだい文下の大ケヤキ」の樹肌の美

しさ、根本から清水が湧く「山楯の泉櫻」に会ってほしい。

奥の細道の最上には自然が多く残っており、巨樹が特に多い。最上町の「東法田の大アカマツ」は、日本一に認められる前は整備されておらず会うのに苦労した。宮崎アニメのトトロに樹形が似ている「小杉の大杉」を囲んで、山菜弁当かおにぎりを食べるのが私の講座の昼食だ。

私は巨樹に向かい「風雪に耐え、周囲に逆らわず、しかし自分をしっかり主張している その姿に畏敬あり」の気持ちで、いつまでも永らえて欲しいと手を合わせている。実は自分が「樹林気功」を頂いているのだが。

（昭和45年卒 齋藤利明 記）



小杉の大杉（トトロの木）



東根の大ケヤキ



大井沢の大栗

# クラス会だより

## いとし会

昭和24年卒

平成20年11月15日(土)、会場は昨年と同じく銀座並木通りカリオカビル6階の南蛮1934にて行いました。午後5時30分総会開会に先立ち本年逝去された同級生4名に鎮魂の黙祷を捧げました。

高野雄幸君(東京7月11日)井上裕君(千葉7月22日)藤井昭治君(埼玉9月27日)大津二郎君(東京10月24日)の方々です。

総会はスムーズに進み、報告・会計報告も終り協議事項に於て来年は卒後満60周年を迎えるので、如何な

る形で行うか執行部の案件となりました。次いで新理事長に就任された熱田君より今後の大学の在り方、進め方、人脈の育て方等縷々説明を頂きました。どうかお身体大切にご活躍下さい。

記念撮影後懇親会に入り、和気藹々うちに久し振に出席された宮城の杉本是孝君の歯科界への警鐘を頂き、愛知の村尾トヨさん、静岡の長尾盈君、新潟の皆川 明君よりご挨拶を頂きました。盛会の午後8時半閉会、来年度の再会を約し散会。

今回の出席者は下記の通りです。  
(敬称略)

熱田俊之助, 鮎沢武齡, 岡田 勇, 加藤正照, 神山五郎, 斎藤 久夫妻, 杉本是孝, 杉山邦夫, 鈴木義政夫妻, 相田孝輔未亡人, 皆川 明, 田中省順, 長尾 盈, 堀 将夫妻, 宮田俊昭, 村尾トヨ及女婿野未省司, 山田英章, 赤松英一, 愛知正昭及次男嫁

以上会員18名同伴者6名でした。

雑駁な報告に終りました事お許し下さい。(世話人 赤松, 愛知)

(愛知正昭 記)



# 一期会

昭和28年卒

山の紅葉が日増しに色づく季節で、また、味覚の秋でもある平成20年10月12日、卒後55回目の一期会総会が東京青山の加賀料理の浅田で開催された。浅田は交通に至便で、数寄屋造りの落ち着いた店内と足をのばして座れる掘り炬燵式の座敷が用意され、座り心地は上々であった。会は高橋茂生君の開会の辞で始まり、千葉県より参加した吉田 浩君を議長に選出した。会長西山 巖君から本年度に逝去された相良 宰君、佐藤 博君の訃報のお知らせがあり、両君のご冥福を祈って参加者一同黙祷を捧げた。ついで、阿部和雄君の会計報告、山本勝一の監査報告のあと、西山会長より体調不良のため会長を辞任したい旨の発言があり、了承された。後任の会長は、後日の役員会で多胡 彬君に引き受けてもらうことに決まった。そして、恒例の一同記念写真のあと、多胡君の司会で懇親会に移った。福

島県から参加した小汲喜郎君の乾盃の音頭のあと、珍味な料理を賞味し、お酒類を酌み交しながら、といっても一同酒量は大分少なくなったがよもやま話に花を咲かせた。なお、酒宴の中程で、会の運用のことについて、もっと気楽な形にしてはという意見が出たが、役員会にて

見明 清君に会則変更案を検討してもらうことになった。

出席者名（順不同、敬称略）

同伴組：西山 巖夫妻、島野達也夫妻

単身組：阿部和雄、今井豊享、畦森公望、小汲喜郎、高橋茂生、多胡 彬、兵藤佐一、見明 清、山本勝一、吉田 浩

（山本勝一 記）



## ふるさと自慢の関連資料

### 全国一の巨樹（2009年1月現在） 齋藤調べ

ケヤキ	東根市東根小学校	「東根の大ケヤキ」	幹周り12.6m	樹高28m
マツ	最上町東法田	「東法田の大アカマツ」	幹周り 7.7m	樹高22m
カツラ	最上町権現山	「権現山の大カツラ」	幹周り20.0m	樹高40m
シロヤナギ	戸沢村津谷	「津谷の大ヤナギ」	幹周り 7.7m	樹高22m
クリ	西川町大井沢山中	「大井沢の大栗」	幹周り 8.5m	樹高15m
クロベ	真室川町甌山	「縄文のクロベ」	幹周り 9.4m	樹高22m
クロベ	大蔵村赤松	「岩神権現のクロベ」	幹周り12.2m	樹高25m
ミズコナラ	大蔵村白須賀	「白須賀のミズコナラ」	幹周り 6.5m	樹高15m
ヒメグルミ	大蔵村合海	「大坪のヒメグルミ」	幹周り 4.4m	樹高13m
カスミザクラ	大蔵村豊牧	「カスミザクラの木」	幹周り 5.4m	樹高 5 m
オオバボダイジュ	尾花沢市麓町	「オオバボダイジュ」	幹周り 9.0m	樹高10m



# 十 期 会

昭和37年卒

十期会沖縄大会は、11月28日(金)～30日(日)に那覇市で開催された。49名の参加者で、2,500キロの北海道はじめ、各地から70歳前後の歯科医療練達者たちが馳せ参じて、話尽きずの三日間。

石垣島から西表島まで足をのびして秘境の自然を満喫した者たち、親の介護(老老介護)や伴侶の介護の合間を縫って空港に辿り着いて参加した者、伴侶が生前沖縄訪問を望んでいたが果たせなかったことを胸に秘めて参加した者、それぞれが、この年齢層の思いを深くしての集いとなった。ゴルフ参加者は、第36回同窓会主催全国大会65歳以上優勝者金山公彦君を中心に前夜祭のような雰囲気琉球舞踊と琉球料理に泡盛で乾杯。翌日は早朝からゴルフ大会と沖縄本島の北部観光に分かれて夕刻の総会開始まで沖縄本島を走り回るような活動振りであったが、三日間の合間に、南部戦跡にある「平和

記念公園」で平和祈願を捧げてくる者ありで、スケジュール一杯であった。とくに北部観光の参加者たちは、海洋博跡の「美ら海水族館」で、海辺の生き物たち(サンゴ礁に囲まれた礁池のイノーの生物)、黒潮の海水を泳ぐ巨大な「ジンベイサメ」、「オニイトマキエイ(マンタ)」、深海深層の海水槽の生き物を詳しく観察。海の生物にとりつかれている同行の田中久雄君はジオトープの世界を解説。

総会は29日午後6時から「ロワジールホテル那覇」の12階で開催、飯塚正人君の司会、山内英徳会長挨拶、野間弘康元副学長による大学の近況、議長に小室 甲君がまとめ役で熱心に45分間の報告・審議事項をこなし、校歌と逍遙歌を共に4番までバイオリン(佐々木)、フリュート(石井)、チェロ(高江洲)の伴奏で高らかに斉唱して後、記念写真に納まった。2次会も同ホテルの12

階で、懇談果てしなく夜が更けた。それから元気な者たちは、深夜の国際通りの散策に出かけていった。

30日は全員で首里城と識名園を観光のあと、那覇空港に到着解散となった。来年の開催地幹事は、大阪の小室 甲君と明子夫人が務めることになっていて、5月開催案が提案されている。

出席者 飯塚正人・玲子、石井秀人・初音、岩淵 徹、梅津文夫、梅田尚夫、金山公彦・良子、岸田允、木村 剛、栗山豊美・倫子、小坂剛也・登喜、小室 甲・明子、小山昌道・晴子、佐々木協子、笹本允明、下井直彦、杉戸 勲・寛子、清野比奈子、瀧 義孝・瑞枝、田中久雄、高江洲義矩・英子、永井栄子、中井一仁、野間弘康・歌子、羽田育哉・孝子、初鹿繁和・京子、廣川裕祐、堀江典子、松山美念子、皆葉壽樹、茂木洋子、矢内 融、山内英徳・蘭子、山崎頼任、山田洋文、横田秋三朗。

(高江洲義矩 記)



# 歯士会

昭和38年卒

## 京都の二日・十二単の世界を体験

気を揉んでいた天気も今日明日は良さそうである。クラス会の初日は気温も少し上がりまずまずの総会日和が期待できそうだ。

「歯士会」今年の開催は京都が当番で、11月1・2日、京都ホテルオークラで開いた。この日は2・3日が日月の連休で3日を延泊の予備日とした。

3時半からの総会では大学の水道橋再移転の話で、大学や同窓会の考え方などの報告があり、複雑な成り行きに不安の声も聞かれた。

記念講演は「京都検定事始め」と題して京都商工会議所の武内氏がご当地検定の先駆けとなった京都検定の発案と経緯などモギ試験を交えての話があった。

懇親会は京料理の「会席膳」に舞妓・芸妓のお酌と地方の三味線が入り、井上流京舞の披露などで京情緒を楽しんだ。

懇親会の絞めはホテル最上階ラウンジで親睦会。東山のシルエットを眺めながら久し振りの再会に、夜も更けるのも忘れて話が弾んだ。

二日目はバス観光。竜安寺では巧

みな石組みで禅の思想を表現した石庭を観賞。

世界遺産に登録されている糺の森にある下鴨神社は葵祭で有名。ここでは十二単の着付けと王朝の舞の観賞。日常ではなかなか観ることの出来ないものだ。

昼は大徳寺塔頭の大慈院「泉仙」の鉄鉢料理を賞味。精進料理ながら結構お腹も膨れたものだ。

最後は京の台所と言われる錦市場での見物とお買物。連休とあって観光客で賑わう。京料理の素材が見もの、買うのも見るのも楽しいものだ。突当りの寺町を北に上がればバスの待っている御池通り。延泊組はすぐ近くのホテルへ、帰省組はそれぞれ駅と空港へ。天ご盛りの観光。クラス会はこうして終わりました。皆さんの協力で責任を全うすることが出来、感謝いたします。

なお残念ながら、今回出席を予定されてその後、ご本人やご親戚の病気などで欠席された方が複数おられました。お身体を大切に！

来年は群馬です。誓！元気で再会参加者は以下の39名（敬称略）

縣・秋山・伊藤・犬飼夫妻・今村・

小田・小野寺夫妻・鹿島夫妻・笠原・木村夫妻・久保田夫妻・近藤・白岩・鈴木・高島・高橋夫妻・田代・寺尾・富井夫妻・中川・長束・野沢・前田夫妻・松田・山下・松村(雄)夫妻・松村(啓)・柳・阿左見・荒木夫妻

(荒木 賢 記)



## 踏 志 会

昭和41年卒

第43回踏志会は11月1日、2日、愛媛県当番、広島（福山）の藤井、信森両君の協力で、福山集合、ゴルフ、瀬戸内しまなみ観光、松山総会と二県にまたがる異例の開催となりました。

10月31日ゴルフ参加者は福山ニューキャッスルホテルに前々泊、11月1日福山新市クラシックゴルフクラブ9時30分スタート、参加11名、晴の特異日を選んだかいあってか最高のゴルフ日和、優勝柴山謹一郎君、2位高橋捷治君、3位山本芳隆君でした。この日は翌日観光参加の前泊24名が到着、当初遅い時刻の到着を想定、夕食は各自でという予定が、結果会食希望が36名に

達し、1店に収容しきれず2店にわかれての会食と大盛況でした。

11月2日早朝新幹線で到着の江崎梅太郎先生、安田以久さんを迎え42名、8時30分貸切バスで観光出発。瀬戸内しまなみ海道へ、途中生口島で平山郁夫美術館、大三島で大山祇神社に立ち寄り今治市で四国上陸、西条市へ。アサヒビール西条工場で昼食、飲み食い放題で生ビールジョッキ5杯の女傑も出現、ほろ酔い機嫌で松山へ。道後温泉大和屋本店へ着いたのが16時すぎ、受付の後集合写真までの時間を道後温泉本館での入浴、附近の温泉街散策、お土産買いに有効利用、この間に広瀬君、渡辺君も到着。出席者44名（特

別参加の江崎先生ほか会員28名、同伴夫人15名）全員そろった所で写真撮影。19時30分同伴者同席での総会となり、上竹会長挨拶、3月11日逝去された山本光之君及びこれまでの物故者18名の冥福を祈り黙祷、会務報告、江崎先生と同窓会近況報告、次期開催（新潟）報告。続いて懇親会に、例年の事ながら話がはずみ二次会の予定時刻になってもその場を去り難い様子でした。強引に二次会へ移動の後も話はつきず日付けが変わってもまだ続いていました。

今回は丸田五十三君幹事で21年10月24日、25日、新潟県妙高市赤倉観光ホテルで開催予定です。万難を排して出席を！！

（長山誠之 記）



# OB会・グループ・サークルだより

## 東京歯科大学空手道部五十周年記念祝賀会報告

10月12日三連休の中日の日曜日、東京皇居前のパレスホテルにて来賓として坂田三弥元部長、鈴木 隆前部長、岩城利之元師範をお招きし、OB 会員42名、現役学生4名が出席し五十周年記念祝賀会が開催されました。

まず4時30分より平成20年度空手道部 OB 会総会が開催され、OB 会会長の挨拶の後、事務局より事業報告、会計報告が行なわれました。

そして、5時より記念祝賀会が開会しました。

祝賀会は関野 真 OB 会長挨拶、澤田 隆空手道部部長挨拶そして現役の渡邊美貴主将から挨拶および現役部員の紹介がありました。その後、来賓の坂田三弥元部長、鈴木隆前部長そして空手道部創成期にお世話になった岩城利之元師範より挨拶

をいただき、続いて空手道部1回生である竹内忠彦先生による乾杯の発声があり、その中で空手道部が作られた当初の経緯などが披露されました。その後、アトラクションとしてスクリーンに映し出された、年代毎の写真を見ながら、厳しかった稽古の様子、悔しかった試合の思い出、逃げ出し方をいろいろ考えた夏合宿、旧水道橋校舎の中央ホールや後楽園球場の歓声が聞こえてくる屋上、市川校舎にあった道場そして稲毛に移転後の新しい道場での稽古風景など若かりし頃の思い出を各年代の代表者が語って和気藹々で盛り上がりました。最後に、空手道部コンパの恒例行事であった演芸大会の名物である橋本哲郎先生の「チェックウリサ」、中里雅威先生の「イヨマンテの夜」が披露され、締めめに現在

現役部員が男子2名、女子3名と非常に少なく存続の危機にある空手道部への強力な支援を誓い、出席者一同と東京歯科大学空手道部そして東京歯科大学の発展を祈り竹内宗彦先生の指揮によりエールを贈りお開きとなりました。

祝賀会の様子は、記念事業として作成したDVDに収め、空手道部OB 会会員および出席者に配布しました。

(空手道部 OB 会会計

宮本克樹 記)



## 管弦楽団第31回定期演奏会

2008年11月23日に晴天のもと、管弦楽団第31回定期演奏会が千葉校舎講堂にて盛大に開催されました。今回は、昨年の創立80周年の記念演奏会に続き、新たな一歩を踏み出す演奏会となるので、現役部員により「そして、希望は舞い上がる。」という標題が設定されました。その標題のもとで曲目を選び、定期演奏会に向けて練習してきました。曲目は、ラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第2番ハ短調」、ベートーベン作曲「交響曲第7番イ長調」でした。間奏にリスト作曲「愛の夢」のピアノ独奏、アンコールにはマスカーニ作曲「歌劇カヴァレリアルスティカーナより間奏曲」(編曲 鎌田由紀夫)、シュトラウス作曲「雷鳴と電光」を演奏しました。ラフマニノフ、ベートーベン、ともにロシア、ドイツを代表する作曲家の一人で、今回演奏した曲は、どちらも活力とロマンと美しい旋律がある名曲です。指揮者には鎌田由紀夫先生

に、ピアノ協奏曲、独奏には山口瑞穂さんになさって頂きました。

管弦楽団が歯科の単科大学にあることは全国の歯科大学でも非常に稀で、例年と同様に多数のエキストラ参加を呼びかけ、ようやく演奏会を開催できるのが現状です。今年も多胡 彬先生を初め、遠路はるばる板垣光信先生など、大勢の全国のOBの先生方が演奏会に参加されました。また、現役部員が医科学生オーケストラで知り合った多くの医科学生の方々も、エキストラとして参加して下さいました。今回は、岡崎 真先生に音楽的な指導を現役部員になさって頂き、山本勇人先生にOB会会計を引き受けて頂きました。演奏会成功には、現役部員が多くのエキストラの団員に綿密に連絡をとり計画をたて、さらに前述の標題のような「そして、希望は舞い上がる。」のような熱い思いが現役部員にあったからと思います。

演奏会終了後は厚生棟にて現役部

員とOB会とエキストラの皆様との懇親会が催され、多胡 彬OB会名誉会長よりご挨拶及び乾杯のご発声を頂き、開会しました。懇親会は終始和やかな歓談で進行し、お開きとなりました。

追伸 平成21年1月6日に当団の指揮をなされた鎌田由紀夫先生がご逝去されました。当団では第26回定期演奏会以来、連続6回の指揮をして頂き、常に献身的、親身になって当団をご指導して下さいました。管弦楽部OB会を代表し、追悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

(平成7年卒 田中大平 記)



# 庶務日誌

1月

1) 理事会

1月17日(土) 第1回理事会

2) 委員会

1月9日(金) 学術部委員会 (運営委員会)  
 13日(火) 広報部委員会 (会報編集)  
 13日(火) 学術部委員会 (運営委員会)  
 14日(水) 学術部委員会 (研究部委員会)  
 15日(木) 学術部委員会 (運営委員会)  
 19日(月) 情報部委員会  
 20日(火) 学術部委員会(将来像検討委員会)  
 21日(水) 学術部委員会 (運営委員会)  
 26日(月) 学術部委員会 (企画会議)  
 28日(水) 学術部委員会 (運営委員会)

3) 出張

1月9日(金) 千代田支部新年会 大山会長出席  
 17日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会  
 大山会長出席  
 23日(金) 芝支部総会・新年会 服部副会長出席  
 24日(土) 世田谷支部新年会 大山会長出席  
 25日(日) 埼玉県支部新年会 大山会長出席  
 30日(金) 浅草・下谷支部合同新年会  
 大山会長出席  
 31日(土) 杉並支部新年会 宮地常任理事出席

2月

1) 理事会

2月4日(水) 第1回常任理事会

2) 委員会

2月2日(月) 学術部委員会 (プログラム委員会)  
 5日(木) 学術部委員会 (研修委員会)  
 6日(金) 学術部委員会 (運営委員会)  
 6日(金) 渉外部委員会  
 9日(月) 学術部委員会 (運営委員会)  
 13日(金) 広報部委員会 (会報企画)  
 17日(火) 学術部委員会 (運営委員会)  
 20日(金) 情報部委員会  
 23日(月) 学術部委員会 (企画会議)  
 24日(火) 保険部委員会  
 25日(水) 学術部委員会 (研究部委員会)  
 25日(水) 厚生部委員会  
 26日(木) 学術部委員会 (運営委員会)

3) 出張

2月8日(日) 滋賀県支部総会  
 学術講演会 講師・柴原孝彦教授(母校)

一口メモ



## 歯科医院もアロマでリラックス

最近の歯科医院は少しでも緊張や不安を和らげるための工夫がなされるようになってきました。

待合室や各チェアにはモニターが設置され、環境映像のDVDや音楽を流すのはごく普通の事です。

そして『歯科医院に来たら当たり前!』と思っていたあの歯科特有の消毒薬やセメントの臭いもOLや若い親子を中心に敬遠される世の中になってきているのです。

そんな訳で私の医院では自らアロマセラピー検定試験を受け、アドバイザー資格も取得し、本格的なアロマセラピーを実践しています。アロマディフューザーを使って院内全体に香らせ、ラベンダー・ローズ・ユーカリ・柑橘類などその日の気分で使い分けています。お陰で女性患者様との会話も弾み、スタッフも毎日明るく働いていますので、ぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか?

検定試験等参考 社団法人 日本アロマ環境協会 <http://www.aromakankyo.or.jp/>

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

- 昭 20.9 卒 竹 村 進 (84歳) 20. 11. 17  
大阪府支部 〒573-1182 枚方市御殿山町13-7
- 昭 28 卒 杉 山 幸 人 (79歳) 20. 11. 30  
三重県支部 〒515-2523 津市一志町井生1371-3
- 昭 19.9 卒 藤 本 調太郎 (86歳) 20. 11. 28  
広島県支部 〒729-5124 庄原市東城町東城270
- 昭 19.9 卒 菊地原 重 郎 (86歳) 20. 11. 27  
杉並支部 〒194-0042 町田市東玉川学園1-33-75
- 昭 44 卒 塩 見 正 孝 (63歳) 20. 12. 9  
兵庫県支部 〒670-0096 姫路市西新在家3-11-11
- 昭 26 卒 大 川 襄 二 (81歳) 20. 12. 10  
群馬県支部 〒371-0223 前橋市大胡町340-2
- 昭 33 卒 北 原 祐 佐 (79歳) 20. 12. 9  
新宿支部 〒169-0072 新宿区大久保2-13-4 北原ビル10F
- 昭 31 卒 平 野 英 男 (77歳) 20. 11. 4  
千葉県支部 〒273-0112 鎌ヶ谷市東中沢3-9-41
- 昭 44 卒 高 木 昭 (64歳) 20. 12. 24  
静岡県支部 〒424-0851 静岡市清水区堂林2-13-20
- 昭 16. 12 卒 鈴 木 一 志 (88歳) 20. 12. 26  
板橋支部 〒174-0043 板橋区坂下1-28-3-501
- 昭 17.9 卒 伊 藤 武 利 (88歳) 20. 12. 9  
三重県支部 〒511-0814 桑名市松並町2-6-20
- 昭 43 卒 佐 藤 晃 一 (65歳) 21. 1. 1  
本郷支部 〒121-0057 足立区神明南2-11-4
- 昭 25 卒 杉 山 忠 憲 (79歳) 20. 12. 30  
札幌支部 〒001-0907 札幌市北区新琴似7条6-5-21
- 昭 12 卒 森 田 博 道 (93歳) 21. 1. 2  
静岡県支部 〒410-0801 沼津市大手町5-5-3
- 昭 45 卒 吉 田 光 宏 (64歳) 21. 1. 4  
岡山県支部 〒700-0902 岡山市錦町1-16
- 昭 22 卒 伊 藤 清 水 (83歳) 21. 1. 4  
福岡県支部 〒802-0043 北九州市小倉北区足原2-7-26
- 昭 28 卒 小 菅 三喜雄 (79歳) 20. 12. 20  
杉並支部 〒168-0065 杉並区浜田山3-9-6
- 昭 24 卒 井 上 純一郎 (80歳) 21. 1. 10  
栃木県支部 〒329-2726 那須塩原市扇町9-5
- 昭 11 卒 坂 越 實 (97歳) 21. 1. 3  
兵庫県支部 〒671-4132 宍粟市一宮町東市場440-3

●昭 34 卒	明 本 康 正 (75歳)	21. 1. 12
青森県支部	〒036-8004 弘前市大町3-4-9	
●昭 24 卒	山 口 和 夫 (83歳)	20. 12. 31
十勝支部	〒080-0015 帯広市西五条南15-9	
●昭 20.9 卒	山 田 二 郎 (91歳)	21. 1. 18
愛知県支部	〒480-1207 瀬戸市品野町4-84	
●昭 28 卒	佐 藤 徹一郎 (83歳)	21. 1. 23
北多摩支部	〒183-0052 府中市新町1-39-1	
●昭 17.9 卒	難 波 清 泰 (87歳)	21. 1. 14
兵庫県支部	〒655-0039 神戸市垂水区霞ヶ丘1-5-16	
●昭 23 卒	宇佐美 昭 夫 (81歳)	21. 1. 30
静岡県支部	〒421-3203 静岡市清水区蒲原3-23-12	
●昭 20.9 卒	鮎 澤 英 齢 (85歳)	21. 2. 6
南信支部	〒395-0042 飯田市松尾町1-7	
●昭 22 卒	佐 藤 貞 (84歳)	21. 2. 8
新潟県支部	〒959-0244 燕市吉田中町6-31	
●昭 11 卒	岡 田 太 一 (94歳)	21. 2. 9
福井県支部	〒914-0062 敦賀市相生町12-18	
●昭 26 卒	斉 藤 顕 (81歳)	21. 1. 24
豊島支部	〒170-0002 豊島区巢鴨4-14-14	
●昭 24 卒	続 清 典 (80歳)	21. 2. 10
静岡県支部	〒424-0819 静岡市清水区元城町4-7	

追 悼

—— 周りに慕われながら逝く ——



北原祐佐君 (中島)が平成20年12月19日に逝去されました。

15年前に肺癌を患い、慶応病院で肺の部分切

除の手術を受けました。全治したかに思いましたが、急性肺炎を起し去る19日の深夜に、亡くなりました。日本人男子の平均寿命である79歳でした。私は昭和23年以降の同級生で60年来の友人でした。彼からは多くの恩恵を受け感謝をしています。新宿区歯科医師会の中では、理事を何期も務め、長く政治連盟の理事長をも務め、また、東京歯科大学同窓会

新宿支部長では大変活躍され人望が厚かった人でした。

趣味は広く同級の上子さんと結婚して始めたスキーでは、1シーズン中40日もゲレンデにいた年もあった位です。ボウリングでは上子さんとペアーを組んで東日本大会に優勝したこともありました。魚釣りも上手でした。テニス、カメラ、マージャン等。総て素人の域を脱しているほどでした。又、彼はお酒も大好きで深く人生を楽しみました。本業の歯科医療では、上子さんと2人温かい人柄で愛され、地域住民に貢献されていました。

奥様の上子さんも歯科医師をやりながら、七宝焼きでは日本芸術会

六喜会 (昭和33年卒)

員の一人に名を連ねる芸術家で、『北原君の協力無しにはその道を追求できなかった』と言う事です。

愛媛の松山出身ということで、故郷を愛し、会話の中でも、旧制中学校の同窓会の話や四国の物産展に行っては、名物を買ってきて、よくPRしてくれていました。

ご家族としては、長野の親戚である北原家から、弘子さんというお嬢さんが今春、歯科医師国家試験を受け、後を継いでくれると言う将来像を描きながら、安心して旅立っていったことと思います。最愛の友人を亡くし、心痛にたえません。御冥福を心からお祈り申し上げます。

(昭和30年 足代弘文 記)



## ◆投稿規定

### (1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

### (2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

### (3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文

のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

### ③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

### (5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧下さい。

## ◆へんしゅうこうき

★ 「Change」(変革)と「Yes, we can.」をキャッチフレーズにして長い長い選挙戦を勝ち抜いたオバマ米国新大統領が始動しました。立候補した頃にはまだ予想もされなかった未曾有の経済混乱のなかでの船出です。善くも悪くも全世界に大きな影響を及ぼしている米国の指導者ですから、しっかり良い結果をだしてくれることを期待したいものですがどうなるのでしょうか。

就任演説のなかで、彼は「我々全員の失敗の結果、家は失われ、職はなくなり、ビジネスは台無しになった。健康保険制度は金がかかり過ぎる」と述べています。それに対してなすべきことのひとつとして「医療の質を引き上げながら、そのコストは減らす」としています。

米国で認識されている危機は、日本でも同様です。この文を書いている最中にも名だたる大企業が軒並み大幅な赤字をだし、正社員の大量リストラを実施というニュースが流れてきます。

★ 100年に一度の変化の時代に遭遇し、我が同窓会もかつて経験したことのない変革が要求されているのかもしれない。

★ わずかに勝ち組とされている企業が、等しく実行したことは変化し続けたことです。

★ 巻頭言でも述べられていますが、広報の有り方も、時代にあわせて具体的に変化しつづけないといけないなと思いを新たにしています。

(林 量一 記)

## 広報部委員会

委員長 小林 伯男  
委員 内山 健志  
林 量一  
東郷 幹夫  
白田 準  
小池 修  
尾崎 圭子  
福井 雅之

広報部担当理事 三友 和夫

平成21年2月20日 印刷

平成21年2月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第368号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 三 友 和 夫

編集人 小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)